

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 摂津宥和会

《も く じ》

ま え が き

1	摂津宥和会事務局	1
2	地域生活支援センター		
	Ⅰ 障害者支援施設「摂津市立みきの路」	1 0
	Ⅱ 共同生活援助（グループホーム）	2 5
3	摂津市立児童発達支援センター		
	Ⅰ 児童発達支援センター「つくし園」	3 3
	Ⅱ 障害児通所支援施設「めばえ園」	4 4
4	摂津市総合福祉施設「ふれあいの里」		
	Ⅰ 多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」	4 9
	Ⅱ 摂津市立身体障害者・老人福祉センター	7 1
	Ⅲ 摂津市障害者職業能力開発センター「せつつくすのき」	7 7
5	摂津市立第1児童センター	8 8
6	摂津市障害者総合支援センター		
	Ⅰ 摂津市障害者総合相談支援センター「ウィング」	9 6
	Ⅱ 茨木・摂津障害者就業・生活支援センター	1 0 1

ま え が き

社会福祉法人摂津宥和会は、平成27年4月1日に合併後、4年目を迎えました。

今年度も、昨年度に引き続き、人事異動を積極的に行いました。人事異動により、職員がそれまで培ってきたスキルや経験を新しい職場に持ち込むことで、職場の活性化を図りました。

今年度から、改正社会福祉法が施行されました。新たな定款に基づき、新理事、監事の選任、経理規則の一部改正を行い、改正法に沿った法人運営を行いました。

「地域生活支援拠点事業」の一環として、みきの路にコーディネーターを配置し、また、摂津市障害者総合支援センターを、10月1日より、旧摂津市商工会館へ移転しました。

みきの路と障害者総合支援センターが連携し、地域生活支援拠点事業を実施していくための体制を構築することができたと考えております。

ひびきはばたき園では、今まで市内になかった新たなサービスとして、自立訓練（生活訓練）を開設しました。2年を年限として、自立した地域生活を送るうえで必要な生活や社会スキルの習得を目指し、一人ひとりの能力に応じた取り組みを実施しました。

昨年度のひびきはばたき園、児童発達支援センターに続き、本年度はみきの路、第1児童センターが、第三者評価を受審し、いただいた評価をもとに、サービスの質の向上につなげることができました。

今年度より、新たに、事業展開や組織のあり方について議論し、法人全体で認識を共有していくことを目的とし、パワーアップ事業を実施しました。4つの部会で、それぞれ所属する職員が議論を重ね、中間報告をまとめることができました。

引き続き利用者本位で法人運営をしていくとともに、法人全体で職員の専門性の向上を目指し各種研修や虐待防止の体制づくりなどに積極的に取り組んでいきたいと考えております。

1 摂津宥和会事務局

(1) 社会福祉法人制度改革について

平成29年度から、改正社会福祉法が施行された。昨年度より、法改正にスムーズに対応できるように、外部研修の受講等を通じて情報収集をし、その内容をもとに法人内で検討を重ねてきた。

今年度は、新定款に基づき、新理事、監事の選任、経理規則の一部改正を行い、改正法に沿った法人運営に努めた。

(2) 理事会等

①理事会の開催状況と議決事項

回数	開催月日	出席者	議決事項等
第1回理事会	4月1日	理事 6名 監事 1名	1 社会福祉法人摂津宥和会 理事長選任 2 社会福祉法人摂津宥和会 業務執行理事選任
第2回理事会	6月5日	理事 6名 監事 2名	1 平成29年度就業生活会計補正予算(第1号)承認 2 平成29年度地域生活支援拠点事業にかかる補正予算(第2号)承認 3 社会福祉法人摂津宥和会 定款細則制定 4 平成28年度事業報告並びに各会計決算認定 5 社会福祉法人摂津宥和会 平成29年度第1回定時評議員会の開催について 6 社会福祉法人摂津宥和会 職員給与に関する規則の一部を改正する規則制定
第3回理事会	6月23日	理事 6名 監事 2名	1 社会福祉法人摂津宥和会 理事長選任 2 社会福祉法人摂津宥和会 業務執行理事選任
第4回理事会	1月31日	理事 6名 監事 2名	1 社会福祉法人摂津宥和会 グループホーム「サルビア」「ガーベラ」「オリーブ」「コスモス」「サクラ」施設長任命 2 社会福祉法人摂津宥和会 職員就業規則の一部を改正する規則制定 3 社会福祉法人摂津宥和会 職員給与に関する規則の一部を改正する規則制定 4 社会福祉法人摂津宥和会 経理規則の一部を改正する規則制定

回数	開催月日	出席者	議 決 事 項 等
第5回 理事会	3月27日	理事 6名 監事 2名	1 理事長の業務執行報告 2 業務執行理事の業務執行報告 3 社会福祉法人摂津宥和会 職員就業規則の一部を改正する規則制定 4 平成30年度 指定管理者年度協定締結 5 平成30年度 社会福祉法人摂津宥和会 事業計画承認 6 平成30年度 社会福祉法人摂津宥和会 事業予算承認 7 施設長任命

②評議員会の開催状況と議決事項

回数	開催月日	出席者	議 決 事 項 等
第1回 定時 評議員会	6月23日	評議員 7名 理事 6名 監事 2名	1 平成29年度第2回理事会の議事 2 平成28年度 各会計決算認定 3 社会福祉法人摂津宥和会 理事及び監事の選任 4 社会福祉法人摂津宥和会 役員等報酬規程制定

③監査の開催

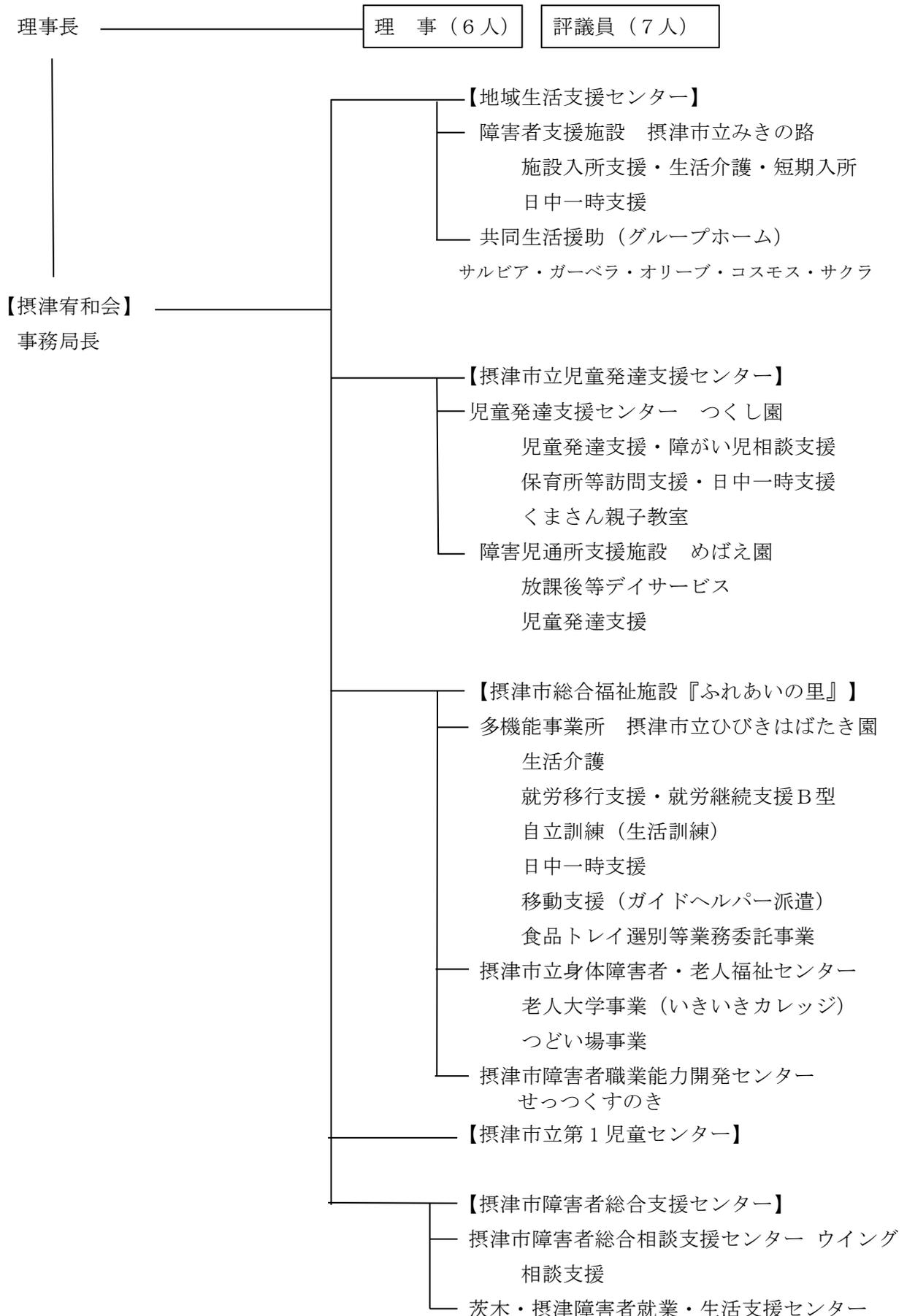
監査区分	実施月日	監 査 人	監 査 内 容
期末監査	5月24日	辻監事 村田監事	平成28年度 事業報告及び各会計決算認定

④役員の体制（平成30年3月31日現在）

役職名	氏名	所属団体、役職名など
理事長	松嶋 桂子	前 社会福祉法人 摂津宥和会 事務局長
理事	稲田 通子	摂津市手をつなぐ親の会 会長
理事	西原 道男	摂津市肢体不自由児者父母の会
理事	山下 恵美子	摂津市立ひびきはばたき園家族会
理事	小島 勝英	摂津市身体障害者福祉協会 副会長
業務執行理事	登阪 弘	社会福祉法人 摂津宥和会 事務局長
監事	辻 晴雄	辻税務経営事務所 所長
監事	村田 守	鳥飼小学校地区福祉委員会 委員長
評議員	高岡 國士	社会福祉法人 成光苑 理事長
評議員	坂本 ヒロ子	社会福祉法人 大阪手をつなぐ育成会 理事長
評議員	榎谷 佳純	社会福祉法人 摂津市社会福祉協議会 会長
評議員	木下 薫	摂津市民生児童委員協議会
評議員	鶴野 隆浩	大阪人間科学大学 教授
評議員	杉本 正彦	一般財団法人 摂津市保健センター 事務局長
評議員	堤 守	摂津市保健福祉部長

(3) 組織

(平成30年3月31日現在)



(4) 職員構成 (平成30年3月31日現在)

単位 (人)

施設区分	施設定員	職員配置				合計
		正職員	契約職員	嘱託	嘱託医	
事務局		3				3
地域生活支援センター						
障害者支援施設 「摂津市立みきの路」	45	22	17	3	2	44
共同生活援助 (グループホーム) 「サルビア」	10					
〃 「ガーベラ」	5					
〃 「オリーブ」	5	3	1	26		30
〃 「コスモス」	4					
〃 「サクラ」	6					
摂津市立児童発達支援センター						
児童発達支援センター 「つくし園」	30	9	5		2	16
障害児通所支援施設 「めばえ園」	10	2		3	1	6
摂津市総合福祉施設「ふれあいの里」						
多機能型事業所 「摂津市立ひびきはばたき園」	60	15	8	6	(3)	29
摂津市立 身体障害者・老人福祉センター		3				3
摂津市障害者職業能力開発センター 「せつつくすのき」	20	4	1	2		7
摂津市立第1児童センター		2	3			5
摂津市障害者総合支援センター						
摂津市障害者総合相談支援センター 「ウイング」		7				7
茨木・摂津障害者就業・生活支援 センター		2	3			5
合計		72	38	40	5	155

※ () は兼務

※ 摂津市立みきの路の施設定員は、施設入所支援30人、生活介護40人、短期入所・
日中一時支援5人

(5) 事務・事業の実施状況

①法人の事業

法人の事業執行にあたっては、その基本的諸事項の審議について、理事会を計5回、定時評議員会を1回開催した。また財務会計については、法人監事による決算監査を実施するなど、事業の円滑・適切な運営に努めた。事業の実施状況は次のとおりである。

実施日	内 容
4月 1日	第1回 理事会を開催
5月24日	法人監事による決算監査
6月 5日	第2回 理事会を開催
6月23日	第1回 定時評議員会を開催
6月23日	第3回 理事会を開催
1月31日	第4回 理事会を開催
3月27日	第5回 理事会を開催

②施設運営

施設の運営については、関係法令、摂津市の条例及び法人の運営要綱に基づいて、利用者のニーズやそれぞれの障がいに応じた支援と施設の特性を勘案しながら、相互に業務の協力を図ってきた。

(6) 職員研修

法人職員としての資質の向上を目的に研修を開催するとともに外部の研修にも参加した。

実施日	内 容	主 催	場 所	参加者
6月23日	大阪府法人・施設等指導監査合同説明会	大阪府	クレオ大阪中央ホール	事務局職員
7月26日	会計勉強会	法人事務局	みきの路	参加希望者
7月27日	平成29年度 社会福祉法人会計セミナー	福祉医療機構	毎日新聞ビル・オーバルホール	事務局職員

実施日	内 容	主 催	場 所	参加者
11月1日	派遣先及び改正職業安定法 セミナー	大阪労働局	マイドーム おおさか	事務局職員
11月15日	労働時間管理について	法人事務局	みきの路	管理職
11月28日	平成29年度 会計管理者・ 担当者研修会	大阪府社会 福祉協議会	大阪社会福祉 指導センター	事務局職員
2月5日	平成29年度 社会福祉法人の 決算実務研修会	〃	大阪社会福祉 指導センター	事務局職員
2月13日	平成29年度 社会福祉法人 会計実務者決算講座	全国社会福祉 法人経営者協 議会	新大阪江坂東急 REI ホテル	事務局職員
3月22日	障がい者虐待防止研修	摂津市	摂津市コミュニ ティプラザ	関係施設 代表者

(7) 職員の健康管理

全職員に対して健康診断を7月末・子宮がん検診を11月に実施した。また、夜勤に従事する職員については、3月末に2回目の健康診断を実施した。

(8) 防災訓練

防災対策計画に基づき、総合訓練を実施した。そして、職員と利用者が迅速に対応できるよう施設ごとに避難・誘導訓練を随時実施し、非常通報装置や消防設備等の定期的な保守点検を実施した。また、防犯対策として、第1児童センターに新たに防犯カメラを設置した。

(9) 会議等

法人は、機能の異なる施設で構成されている複合施設を運営していることから、施設間の連絡調整を密にし、有機的な運営をするため、次のとおり会議等を開催した。

- ・施設連絡会（月2回）
- ・法人事実行委員会（随時）

(10) パワーアップ事業

平成29年度より、新たに、事業展開や組織のあり方について議論し、法人全体で認識を共有していくことを目的とし、パワーアップ事業を実施した。

具体的には、主任級以上の職員が、①経営戦略部会 ②サービス向上検討部会 ③法人組織検討部会 ④危機管理検討部会、のいずれかに属し、各部会でこれまで5～10回程度の会議を開催し、年度末には、各部会でそれぞれの中間報告をまとめることができた。

(11) 「運動会」の開催について

地域交流及び法人事業活動の紹介を目的として、利用者・家族・OB・職員参加の「法人合同運動会」の開催を、摂津市立三宅柳田小学校において、平成29年10月22日(土)に予定し、準備を進めてきたが、中止とした。

(12) 車輛管理状況

施設		年式	取得年月日	車 輛	車両番号	年間走行距離 (Km)	所有区分	備 考
1	法人事務局	H18.1	H29.3	トヨタ パッソ 乗用車	大阪503 も 60-16	2,231	法人	
2	地域生活支援センター 市立みきの路	H29.3	H29.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 15-69	7,123	法人	日本財団 助成
3	〃	H25.5	H25.5	スズキ エブリィ 車椅子移動車	大阪880 あ 22-82	2,037	リース	
4	〃	H26.3	H26.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 セ 82-94	8,188	リース	
5	〃	H26.4	H26.4	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 セ 84-64	6,980	リース	
6	〃	H27.3	H27.3	トヨタ シエンタ 車椅子移動車	大阪503 ふ 58-98	2,579	リース	
7	地域生活支援センター グループホーム	H20.6	H29.3	ダイハツ タント 軽乗用車	大阪581 な 16-83	4,559	法人	
8	〃	H22.3	H29.3	ホンダ バモス 軽乗用車	大阪581 な 16-82	4,900	法人	
9	市立児童発達支援センター	H23.2	H23.2	日産 キャラバン 送迎用ワゴン	大阪302 す 43-48	2,819	法人	日本財団 助成
10	〃	H24.4	H24.4	トヨタ コースター 送迎用マイクロバス	大阪200 は 4-90	364	リース	H29.4 リース満了
	〃	H29.4	H29.4	ニッサン シビリアン 送迎用マイクロバス	大阪200 は 5-98	8,122	リース	
11	〃	H26.8	H26.8	スズキ スクーター 原付バイク	摂津市 A 33-76	641	法人	
12	市立ひびきはばたき園	H23.3	H23.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 セ 51-66	9,213	法人	日本財団 助成
13	〃	H27.8	H27.8	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪830 さ 51-13	10,650	リース	
14	〃	H28.2	H28.2	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 3-25	11,917	法人	日本財団 助成
15	〃	H24.3	H24.3	スバル 軽貨物	大阪480 ち 54-84	6,812	法人	
16	〃	H29.3	H29.3	トヨタ ノア ステーションワゴン	大阪503 も 91-17	11,840	法人	
17	市立身体障害者・ 老人福祉センター	H28.7	H28.7	トヨタ シエンタ 車椅子移動車	大阪503む 61-17	2,302	リース	
18	市障害者職業能力開発センター せつつくすのき	H27.8	H27.8	日産 ラフェスタ ステーションワゴン	大阪302 ほ 60-87	4,073	リース	
19	市障害者総合支援センター	H23.3	H23.3	スズキ アルト 軽乗用車	大阪580 ま 4-15	10,632	法人	日本財団 助成
20	〃	H26.8	H26.8	スズキ スクーター 原付バイク	摂津市 A 33-75	2,080	法人	
21	〃	H26.8	H26.8	トヨタ アクア 乗用車	大阪503 は 16-16	1,502	リース	

2 地域生活支援センター

I 障害者支援施設 「摂津市立みきの路」

(施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時支援・緊急一時保護)

1 施設入所支援・生活介護

(1) 概況

障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えるために、重度障がい者の地域生活に対応できる専門性を有し、地域生活において、障がい者やその家族の緊急事態に対応できるように、地域生活支援拠点事業について 10 月からの実施に向けて取り組んだ。年度当初にコーディネーターとして職員を配置し、摂津市障害福祉課と協議しながら進めた。入所施設の機能を活かすべく、コーディネーターが自立支援協議会に参加して検討を進めてきた。

支援については、夏場に男性入所者にインフルエンザが流行し、シーズンを迎える冬場に十分注意を払い予防に取り組んでいたが、2月末に女性入所者1名が亡くなる事態となった。支援の質的向上のために、各フロアにサービス管理責任者を配置しながら毎月2回のサービス管理責任者会議を開催し、リーダー会議での検討を経て、プログラム化・グループ活動及びフロア間の応援体制等施設全体で取り組んだ。さらに、職員の自己チェックリストを前向きで肯定的な内容に改定し、必要に応じて、ストレス軽減や支援の向上等のため積極的に面談するように努めた。支援ソフトについても、サーバーを通して施設全体で共有できる体制整備を図った。今年度も、ひびきはばたき園と生活介護について会議を継続して開催し、合同運行体制を実施した。

施設管理面では、安心・安全対策として、防災対策について摂津市の研修に参加し、せつつ桜苑を見学して備蓄品や備品の管理及び災害時の事業継続計画について講習を受けた。また、摂津市社会福祉協議会の災害ボランティア受け入れ訓練にも参加した。昨年度に続き、給湯機や空調機の故障は繰り返し発生しており、大規模修繕に向けての予算及び工程・期間等具体的な修繕計画作成に向けて検討を重ねてきた。ひびきはばたき園との合同運行体制の実施に合わせて、全車両にドライブレコーダーを設置して利用者の送迎についても安全管理の徹底を図った。

(2) 支援の状況 【施設入所支援 ・ 生活介護 (通所)】

■施設入所支援

利用者に、施設入所支援と、平日及び土曜、祝日の日中は生活介護を一体的に提供した。

サービスの提供に当たっては、利用者の安全に配慮しつつ、利用者の個人としての尊厳やニーズを尊重し、それぞれの障がい特性、心身の状態に応じて、ひとり一人の利用者が健康で生きがいのある生活を送れるよう、様々な活動や生活支援を行った。

① 個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画書」をもとに、利用者のエンパワメントに着目しながらアセスメントを行い、利用者のニーズや家族のニーズを踏まえ、短期間で達成できる

より具体的な目標を設定し、個別支援計画を作成し支援を行った。

② 生活支援

居室整理・清掃・洗濯・シーツ交換・布団干し・入浴準備等、生活に必要な支援を行い、清潔に配慮し、生活しやすい環境と住みやすい空間の提供に努めた。

また、利用者の心身の状態に応じた補装具を使用できるよう、補装具の工夫や取換えを行った。

③ 入浴

利用者が、心身ともにリラックスできるよう、週に4回入浴サービスを提供した。利用者の身体の状態に応じ、一般浴と機械浴を利用した。

④ 誕生会

月に1度、誕生月の利用者とともに、ケーキを食べながらお祝いした。

⑤ 理髪

月に1度、摂津理美容組合より1名と、同じく月に1度、美容師の方2名が施設内の部屋を活用し、利用者の理髪を行った。

⑥ 余暇活動

散歩・買い物・制作・カラオケ・ドライブ・スポーツ等、利用者が楽しくいきいきとした生活を営めるよう、利用者の希望に沿ったレクリエーション活動を行った。

⑦ 健康管理

利用者が、心身ともに安定した生活が営めるよう、看護師を中心に、日常的な健康管理を行った。また、定期通院及び、突発的な体調の変化が見られた時は、医療機関を受診し、早期治療に努めた。

(ア) 診察

嘱託医、協力医等の来所による診察を受けた。

嘱託医（精神科）	毎月1回
嘱託医（内科）	毎月1回
精神科・内科医	隔週1回
歯科	毎週火曜日 女性 毎週金曜日 男性
精神科医	毎月2回
鍼灸師	毎週3回

(イ) 健康診断 (医療機関：千里丘協立診療所・場所：1階社会適応訓練室)

(人)

実施日	内 容	受診人数
9月 6日	身体測定(身長、体重、血圧、腹囲)、血液検査、尿検査、問診、胸部レントゲン、心電図、骨粗しょう症	30
3月 7日	身体測定(身長、体重、血圧、腹囲)、血液検査、問診	29

(ウ) インフルエンザ予防接種

嘱託医(内科)の往診時に、インフルエンザの予防接種を行った。

(エ) 医療機関受診状況(延べ人数)

(人)

診療科/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
内科	17	14	17	15	37	43	15	20	17	21	15	18	249
神経内科	5	3	2	5	4	2	0	1	2	0	2	2	28
循環器内科	3	1	3	2	4	3	4	4	4	3	3	2	36
外科	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
整形外科	1	0	3	2	2	1	0	0	0	3	0	0	12
歯科	201	202	232	202	198	228	228	199	197	198	196	219	2,500
精神科	32	33	34	23	32	22	20	28	20	33	23	31	331
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
皮膚科	2	4	1	5	3	0	2	0	2	2	0	3	24
肛門科	4	5	7	4	5	4	5	4	4	5	5	6	58
睡眠外来	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	3
眼科	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4
耳鼻科	0	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	5
ストーマ外来	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4
消化器内科	1	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	5
心臓血管外来	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
小児科(てんかん)	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
婦人科	1	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	1	6
精神神経科	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	7
救急外来	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	5
合 計	269	267	306	264	290	306	277	256	250	272	246	284	3,287

■生活介護（通所）

利用者の個人の尊厳やニーズを尊重し、利用者の障がい特性や、心身の状態に応じて、生きがいや、やりがいを感じられる文化的活動や創作活動、身体能力の保持を目的とした身体運動、自立と社会参加を支援する社会適応訓練を提供した。また、給食サービス（昼食）、リフト付きワゴン車（3台）での送迎サービスを実施した。

① 個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画」をもとに、利用者のエンパワメントに着目し、住み慣れた地域で生活できるよう、利用者の心身の状態や障がい特性を把握し、利用者や家族のニーズを踏まえて、短期間で達成できるより具体的な個別支援計画を作成し支援した。

② 活動

月案と日案を作成し、一日の流れにメリハリをつけ、活動内容の充実を図った。また、療育的活動にも着目し、利用者の障がい特性に応じた活動、支援に取り組んだ。

（ア）個別活動

個別支援計画をもとに、利用者の障がい特性やエンパワメントに着目した個別のプログラムを作成し、身体機能の維持、向上や集中力を高める活動を取り入れた。

（イ）制作

季節感を味わえるよう、季節に応じたガラス扉の制作やロビー及び廊下の作品展示や飾り付けなどを行った。利用者の特性に応じ、塗る・貼る・切る等の工程を分担して行った。

（ウ）館内清掃

利用者の特性に応じ、役割を決めて施設内の清掃を実施した。

（エ）散歩・外気浴

身体機能の維持、気分転換、運動不足解消等を目的とし、施設周辺や町内、近隣の公園へ散歩に出掛けた。活動時間が少ない時は、施設前のベンチに座り、外気浴を実施した。

（オ）音楽療法

音やリズムを楽しみながら楽器に触れ、リズムに合わせて体を動かす等音楽を通して心身共にリラックスできるよう、音楽療法士のプログラムを提供した。

③ 入浴

自宅での入浴が困難な利用者に対し、希望される方には、週に一度入浴サービスを提供した。また、利用者の身体状況に応じて、一般浴と機械浴を利用した。

④ 家族との連携

連絡ノートを利用し、利用中の様子を家族に伝えるとともに、自宅での様子を連絡ノートに

記載してもらい、利用者の様子や連絡事項を家族と共有できるようにした。また、利用者の身体の状態を家族に伝え、補装具の調整や、必要なサービス内容の提供、家族からの相談に対するアドバイスをを行った。

⑤ 健康管理

利用者の健康状態を把握するため、毎朝検温、血圧測定を行った。健康状態に変化が見られた時は、看護師に相談するとともに、家族に電話で状況を伝え、必要に応じて受診の必要性を説明した。

(ア) 健康診断

病気の早期発見、治療を目的とし、普段病院へ行くことが困難な利用者に対して、希望される方のみ嘱託医による健康診断を実施した。

(人)

実施日	内 容	受診人数
9月 6日	身体測定（身長、体重、血圧、腹囲）、血液検査、尿検査、問診、胸部レントゲン、心電図、骨粗しょう症	10

(イ) インフルエンザ予防接種

病院へ行くことが困難な利用者に対して、希望される方のみ嘱託医によるインフルエンザの予防接種を実施した。

■ 合同活動

① グループ活動

入所支援、通所支援というフロアごとの日中活動ではなく、全利用者の日中活動の充実、夜間支援、日中支援の差別化、個々の障がい特性や心身の状態に応じた支援の提供を目的とし、グループ活動を毎週火曜日と木曜日の午後に実施した。

利用者のニーズや障がい特性に応じ、5つのグループに分かれ、それぞれのグループ担当支援員が、担当利用者の障がい特性等に応じた研修を受けながら、利用者のストレンスを維持・向上できるよう個々の支援を行った。

(ア) 活動内容

1 班 …リラックスできる空間を提供し、個々の身体特性に応じたストレッチや外気浴、散歩などを行った。新たに、ボールプールやエアートランポリン、スノーズレンの用具などを揃え、より充実した内容になるよう取り組んだ。

2 班 …自閉的傾向のある方に対し、集中して取り組めるプットイン作業やパズルといった室内での活動に必要な用具を補充し、作業内容を充実させた。また、気分転換や体を動かしてエネルギーを発散できる散歩やドライブなどを行った。

3 班 …創作意欲や集中力、達成感を味わえる制作、工作などの手先を使った活動やリズム

体操やシャボン玉をしながらの外気浴等、身体機能の維持・向上や精神面の安定を図る活動を行った。

4班 …天気の良い日には近隣の公園に散歩に出かけ、天気の悪い日は室内で体操やレクリエーションをしながら、運動不足の解消や体を動かして心身の健康の維持・向上を意識した活動を行った。

5班 …花壇で花の栽培や室内で軽作業に取り組む等自立に向けた活動を行った。また、三中フェスタでは、地域の子ども達にマグネット作りを教え、交流を図った。

(イ) おやつ作り

グループ活動班ごとに、栄養士と利用者でおやつを作り、午後のおやつの時間に提供した。利用者の希望や、障がい特性やニーズに応じ、おやつのメニューを決めた。

(ウ) 音楽療法

利用者の心身の安定や潤いのある生活をめざし、音楽療法士が週に1～2度来所し、グループ活動班ごとに音楽療法を受けた。また、活動がない日は、各フロアで音楽療法を実施した。

(人)

(エ) ひびきはばたき園との交流

鳥飼体育館で風船バレーボールの練習等各行事に数名の利用者が参加し、利用者間の交流を図った。また、ドアツードアの送迎サービスの充実を図るため、合同での送迎を行った。

(オ) グループ外出

グループ活動班ごとにメンバーを決め、日帰りの外出を行った。

(人)

実施日	場 所	参加人数
6月27日	長居公園	1
6月29日	大阪市立科学館（プラネタリウム）	4
7月17日	伊丹スカイパーク	1
7月27日	ニフレル	4
8月24日	新世界、通天閣	3
8月31日	西河原プール	2
9月13日	長居公園	3
9月21日	万博記念公園	2

10月17日	ニフレル	2
11月2日	天王寺動物園	4
11月9日	ひらかたパーク（電車）	3
11月11日	天王寺動物園	3
12月14日	外食	3
12月26日	外食	2
2月21日	コカ・コーラ京都工場（見学）	3
3月9日	大阪市舞洲障がい者スポーツセンター	3

② 絵画教室

毎週木曜日に絵画の先生に来ていただき、意欲、感受性、創造力、創作力、表現力といった日頃の生活の中では見出しにくい力を引き出し、精神面の安定や新たなストレングスの発見を期待する活動を行った。パステル、絵の具、クレパス、ペン、色鉛筆などを使用して思いおもいの作品を作った。その作品は、12月の人権教育啓発作品展や2月に開催された「つくっ展と輝けコンサート」の会場に展示した。また、みきの路の廊下に常時展示をした。

（3）定員及び利用状況（平成29年3月31日現在）

① 定員及び利用人数

（ア）利用実人数

■施設入所支援 定員 29名（男性 15名・女性 14名） (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
女	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	178
計	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	358

■生活介護（通所） 契約者数 14名（定期利用 13名・不定期利用 1名） (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	10	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	102
女	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
計	15	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	162

(イ) 利用延人数 (通所)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	185	164	186	167	185	149	150	148	149	135	142	158	1,918
女	97	96	107	96	105	96	101	96	98	83	77	91	1,143
計	282	260	293	263	290	245	251	244	247	218	219	249	3,061
支援 日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	21	244
平均 人数	14.1	13.0	13.3	13.2	13.2	12.3	12.0	12.2	12.4	11.5	11.5	11.9	12.5

② 利用者の状況

(ア) 年齢

■施設入所支援

(人)

	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上	合計
男	0	0	4	8	3	0	15
女	0	1	1	8	3	1	14
計	0	1	5	16	6	1	29

■生活介護 (通所)

(人)

	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上	合計
男	0	5	1	3	0	0	9
女	0	2	0	1	1	1	5
計	0	7	1	4	1	1	14

(イ) 手帳の所時状況

■施設入所支援

【療育手帳】 (人)

	A	B1	B2	合計
男	15	0	0	15
女	14	0	0	14
計	29	0	0	29

【身体障害者手帳】 (人)

	1級	2級	3級	4級	5級	なし	合計
男	4	0	0	0	1	10	15
女	3	4	3	1	0	3	14
計	7	4	3	1	1	13	29

■生活介護 (通所)

【療育手帳】 (人)

	A	B1	B2	なし	合計
男	9	0	0	0	9
女	5	0	0	0	5
計	14	0	0	0	14

【身体障害者手帳】 (人)

	1級	2級	3級	4級	5級	なし	合計
男	2	1	1	0	0	5	9
女	3	0	0	0	0	2	5
計	5	1	1	0	0	7	14

(ウ) 障害支援区分

■施設入所支援

(人)

	区分6	区分5	区分4	合計
男	4	6	5	15
女	8	5	1	14
計	12	11	6	29

■生活介護（通所）

（人）

	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	合計
男	4	5	0	0	9
女	2	1	1	1	5
計	6	6	1	1	14

（4）行事

① 施設行事

通 年	グループ外出	施設入所支援 生活介護	
5月25日	音楽コンサート	合同	家族参加行事
7月17日	納涼会	施設入所支援 生活介護（希望者）	地域行事
10月10日	運動会（室内）	合同	家族参加行事
11月6日	摂津高校和太鼓コンサート	合同	
12月18日	クリスマス会	合同	

② 地域行事

5月28日	大阪府障がい者スポーツ大会 （フライングディスク）	施設入所支援
8月6日	摂津まつり	
11月12日	三中フェスタ	
11月26日	輪い輪いまつり	施設入所支援
12月10日	風船バレーボール大会	

③ 法人行事

10月28日	摂津宥和会運動会	天候不良のため中止
2月17日	つくっ展と輝けコンサート 出展・見学	合同

(5) 防災

① 災害時に備えるために、防災設備の点検を行った。

第1回目	10月19日
第2回目	3月29日

② 利用者参加のもと、避難訓練を3回実施した。

第1回目	6月30日 (火災)
第2回目	1月17日 (火災)
第3回目	3月13日 (地震、消火訓練)

③ 摂津市消防本部による心肺蘇生法、AED使用法の講習を受講した。

第1回目	11月17日
第2回目	1月26日

(6) 実習生の受け入れ

実習生として、大阪人間科学大学より2人、大阪成蹊短期大学より3名を受け入れた。

(7) 職場体験

①大阪府立摂津高等学校の授業の一環として、11月16日(木)施設に18名の高校1年生を受け入れ、施設の説明と人権学習を行った。

(8) 職員研修

職員の専門性を高め、より質の高いサービスを提供するため、施設に講師を招く等、職員研修を積極的に実施した。

実施月日	研修名	場所	主催	職種
4月19日	新入職員のための サービスマナーセミナー	大阪社会福祉指 導センター	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会	支援員
4月19日	自然災害の備えに関する要 配慮者利用施設の管理者向 け説明会	摂津市民文化 ホール	摂津市	施設長

5月23日	平成29年度 障がい者総合支援制度における指定事業者・施設 集団指導	枚方市民会館	大阪府福祉部障がい福祉室	施設長代理
5月19日	平成29年度 DV被害者の地域支援者養成講座	大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)	大阪府	支援員
6月7日	平成29年 第1回感染症・食中毒予防対策講演会	クレオ大阪中央会館ホール	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会	看護師
6月16日	食中毒予防講習会	茨木市福祉文化会館	茨木保健所管内集団給食研修会	栄養士
7月3日	保健師・看護師研修会	大阪社会福祉指導センター	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会	看護師
7月5日 14日	平成29年度大阪府相談支援従事者初任者研修	国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)	社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団	支援員
7月18日	平成29年度 労務管理セミナー	大阪社会福祉指導センター	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会	施設長
7月19日	成人施設部会	〃	〃	支援員
7月20日 21日	平成29年度甲種防火管理者講習会	摂津市消防本部	摂津市消防本部	〃
7月25日	平成29年度 障がい児者施設課程(主任クラス)研修会	大阪府社会福祉会館	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会	〃
8月10日	平成29年度 福祉レクリエーション研修会	大阪社会福祉指導センター	〃	〃
8月14日 22日 23日	平成29年度大阪府サービス管理責任者等研修(介護)	国際障害者交流センター(ビッグ・アイ) 大阪府社会福祉会館	社会福祉法人大阪府社会福祉事業団	〃
8月22日 28日	平成29年度 成人施設課程基礎コース	大阪社会福祉指導センター	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会	〃
8月31日	栄養士・看護師意見交換会	大阪府社会福祉会館	大阪府知的障害者福祉協会	栄養士 看護師
9月8日 10月8日	平成29年度大阪府強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)	国際障害者交流センター(ビッグ・アイ) 大阪私学会館	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員

9月15日	介護記録の書き方	エル・おおさか	公益財団法人介護労働安定センター 大阪支部	〃
10月25日	平成29年度施設階層別人権研修	大阪府社会福祉指導センター	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会	〃
11月10日	平成29年度第2回感染症予防対策講習会	豊中市立文化芸術センター	〃	看護師
11月30日	平成29年度障がい者虐待防止・権利擁護研修	国際障害者国際交流センター(ビッグ・アイ)	大阪府福祉部障害福祉室	サービス管理責任者
12月1日	摂津市社会福祉施設地域貢献委員会研修	せつつ桜苑	摂津市社会福祉協議会	施設長
1月17日	発達障害児者の障害特性の理解	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市障害者地域自立支援協議会	支援員
1月19日	平成29年度大阪府内の知的障がい者福祉関係機関職員に対する「機関研修会」(合理的配慮)	大阪府立急性期・総合医療センター	大阪府障がい者自立相談支援センター	〃
2月22日	2017年摂津市人権協会ヒューマンセミナー	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市人権協会	施設長代理
3月8日	大阪府知的障害者福祉協会地域支援部会(短期入所)	北摂杉の子会 萩の杜	大阪府知障害者福祉協会	支援員
3月9日	介護記録の書き方	エル・おおさか	公益財団法人介護労働安定センター 大阪支部	〃
3月22日	平成29年度 摂津市障がい者虐待防止講習会	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市障害福祉課	施設長 支援員
3月22日	災害ボランティアセンター設置シュミレーション訓練	デイハウス ました	摂津市社会福祉協議会	施設長

2 短期入所 定員5名（男性3名・女性2名）

介護者の疾病その他の理由により、一時的に居宅での生活が困難となった方や、相談事業所が作成したサービス等利用計画に基づいて利用される方に対し、施設入所支援の日課に沿いながら、個別の支援を提供した。

(1) 利用延人数

【成人】

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	78	68	76	65	67	52	58	56	63	70	98	91	842
女	31	22	55	55	61	54	59	59	41	36	15	33	521
計	109	90	131	120	128	106	117	115	104	106	113	124	1,363

【児童】

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	6	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	9
女	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
計	6	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	11

3 日中一時支援事業

介護者の疾病その他の理由により、一時的に居宅での生活が困難となった方に対し、日帰りでサービスの提供した。

(1) 利用延人数

【成人】

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	50	56	56	51	48	40	54	52	56	44	47	57	611
女	5	4	2	5	3	5	7	3	5	7	3	6	55
計	55	60	58	56	51	45	61	55	61	51	50	63	666

【児童】

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	1	6
計	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	1	6

4 緊急一時保護

平成 24 年 10 月に障害者虐待防止法が施行されたことに伴い、平成 29 年度も摂津市と「緊急一時保護等のための居室の確保（1床）」の覚書を締結し、2 名の方を受け入れた。

II 共同生活援助（グループホーム）

（1）概況

地域生活支援拠点事業を開始するにあたり、開設当初からのサービス管理責任者の人事異動に伴い、みきの路からグループホーム支援の経験者をサービス管理責任者として配置した。

年度途中から契約職員を1名増員し、職員が入居者と直接関わる機会を増やし、支援の質の向上に努めた。また、世話人全体会議については月1回の定例開催化を図り、支援スキルや知識の向上、法制度の周知を図った。世話人の労務状況や仕事に対する意識調査を目的にアンケートを実施し、働きやすい職場環境の維持に努めた。

30年1月に管理者が逝去し、それに伴い前サービス管理責任者が管理者として着任し、円滑な引き継ぎを行った。今年度10月からスタートさせた地域生活支援拠点事業のコーディネーターを管理者が兼務し、地域福祉の拠点となれるように努めた。

摂津市自立支援協議会相談支援部会への参加、大阪府社会福祉協議会と連携した社会貢献事業にも積極的に参加した。

重度障害者に対応するグループホームの開設を目指し、オーダーリース型ハウスメーカーと情報交換を行い、また見学会にも参加した。開設を希望するご家族とも協議を重ねた。

新規利用者の見学や利用開始時の対応を行うとともに、入居者に対して共同して生活を営む事を通じて、個人の能力を生かしながら、地域社会との接点を持つ事が出来るように支援を行った。また、障害のある人も地域で当たり前暮らし共社会づくりを目指して、取り組みを行った。

（2）定員及び利用状況（延べ利用者数）

◎サルビア（利用定員10名 女性）

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	298	293	297	310	299	300	310	300	290	269	252	279	3,497
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	12	31	28	15	86
1日平均	9.9	9.5	9.9	10	9.7	10	10	10	9.4	8.7	9	9	9.6

◎ガーベラ（利用定員5名 女性）

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	132	143	133	143	147	136	141	136	133	133	116	126	1,619
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4	0	0	10
1日平均	4.4	4.6	4.4	4.6	4.7	4.5	4.6	4.5	4.3	4.3	4.1	4.1	4.4

◎オリーブ（利用定員 5 名 女性）

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	141	138	142	143	130	139	145	137	131	133	133	144	1,656
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1日平均	4.7	4.5	4.7	4.6	4.2	4.6	4.7	4.6	4.2	4.3	4.8	4.6	4.5

◎コスモス（利用定員 4 名 男性）

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	109	109	107	110	107	98	115	108	109	118	108	113	1,311
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1日平均	3.6	3.5	3.6	3.6	3.5	3.3	3.7	3.6	3.5	3.8	3.9	3.6	3.6

◎サクラ（男性 4 名 女性 2 名）

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	108	100	105	104	114	110	101	108	122	140	125	152	1,389
体験利用	11	0	0	4	0	0	15	14	12	0	0	0	56
1日平均	4.0	3.2	3.5	3.5	3.7	3.7	3.7	4.1	4.3	4.5	4.5	4.9	4.0

(3) 入居者の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

◎サルビア

■年齢構成

（人）

20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
3	1	1	2	1	1	9

■障害支援区分

（人）

区分 2	区分 3	区分 4	区分 5
1	2	4	2

■手帳所持状況

（人）

療育手帳 A	療育手帳 B 1
6	3

■日中活動状況

（人）

生活介護	就労継続支援 B 型
7	2

◎ガーベラ

■年齢構成

（人）

20代	40代	50代	60代	合計
1	1	2	1	5

■障害支援区分

（人）

区分 2	区分 3	区分 4
1	2	2

■手帳所持状況 (人)

療育手帳 A	療育手帳 B 1	療育手帳 B 2	精神保健福祉 手帳 2 級	精神保健福祉 手帳 3 級
1	1	1	1	1

■日中活動状況 (人)

生活介護	就労継続 支援 B 型	就労
3	1	1

◎オリーブ

■年齢構成 (人)

10 代	20 代	30 代	40 代
1	2	1	1

■障害支援区分 (人)

区分 1	区分 2	区分 3	区分 4
1	2	1	1

■手帳所持状況 (人)

療育手帳 B 1	療育手帳 B 2
2	3

■日中活動状況 (人)

生活介護	就労継続 支援 B 型	就労
1	1	3

◎コスモス

■年齢構成 (人)

20 代	40 代	50 代
2	1	1

■障害支援区分 (人)

区分 2	区分 3	区分 5
2	1	1

■手帳所持状況 (人)

療育手帳 A	療育手帳 B 1	療育手帳 B 2
1	1	2

■日中活動状況 (人)

生活介護	自立訓練	就労
1	1	2

◎サクラ

■年齢構成 (人)

20 代	30 代	40 代	60 代
2	1	2	1

■障害支援区分 (人)

区分 3	区分 4
5	1

■手帳所持状況 (人)

療育手帳 A	療育手帳 B 2	精神保健福祉 手帳 3 級	身体障害者 手帳 2 級
2	2	1	1

■日中活動状況 (人)

生活介護	就労継続支 援 B 型
1	5

(4) 支援の状況

入居者には、平日の夜間及び土日祝日、年末年始はホームで暮らすという事で、個々に必要なサービスを提供した。支援にあたっては、家庭的な雰囲気をも最優先に考え、日常生活において個々のニーズに合わせて自立と社会参加が出来るように、日常生活上の配慮を重点に置いて支援を行った。昼間の活動は生活介護等、日中活動の場を利用して頂き、土日祝日に関しては、移動支援を利用するなど、余暇活動の充実を図った。

また、就労している入居者からの相談が増えた事に伴い、茨木・摂津障害者就業・生活支援センターとの連携を深め、会社訪問の機会も設定した。

食事提供には、ゆっくりと良く噛んで、味わって食される等の支援を行った。

(5) 個別支援計画

入居者それぞれの多様なニーズに対応するために、6カ月に1回、アセスメントを行い、個別支援計画書を作成し、個々のニーズに合わせたサービス・支援を提供した。

相談支援事業所の作成するサービス等利用計画とも整合性を持たせ、サービス担当者会議で入居者の生活状況を情報共有し、個別支援計画に反映させた。

(6) 健康管理

日常より、世話人がバイタルチェックや入居者の様子等の把握に努めた。サービス管理責任者への申し送りや、状況に応じての定期受診、その他必要に応じて臨時受診を行った。健康診断についてはそれぞれの日中活動の事業所での受診に併せ、その他の検診（乳がん・子宮がん）や歯科検診に同行した。その結果を各主治医に提出し、健康状態の把握に努めた。定期通院で配慮のいる方については、通院同行を行った。必要に応じて通院等介助の利用で対応した。一人で通院される入居者については、主治医と書面や電話での情報交換を行った。

服薬が不十分な方に対して、誤薬等が無いように世話人で管理をして、声掛けや手渡しを行い、服薬管理に努めた。服薬ミスが無いように、世話人は声出し確認、配薬チェック表の利用、口腔内の残薬確認の徹底を行った。

全ホーム統一した栄養管理を目的に、NPO 法人摂津市サポートビューローに委託した配食サービスを継続した。

■医療機関受診・往診状況

◎サルビア

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2	7	4	3	1	7	1	17	2	11	2	4	61
精神科	5	5	5	4	6	4	5	4	5	2	3	3	51
婦人科	0	1	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1	9
眼科	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
耳鼻科	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3
皮膚科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
歯科	0	1	2	1	1	2	1	0	2	2	7	2	21
訪問看護	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
合計	11	18	17	13	14	20	13	25	14	20	17	14	196

◎ガーベラ

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	3	2	3	2	3	2	3	3	6	3	2	0	32
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
精神科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3
歯科	1	2	1	2	3	1	2	2	2	2	1	2	21
整形外科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4	6
眼科	0	0	2	0	0	2	0	1	0	0	1	0	6
訪問看護	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	0	0	28
訪問リハ	4	4	4	4	6	8	8	8	8	8	8	8	78
合計	13	13	15	13	18	18	18	15	19	16	14	16	188

◎オリーブ

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	0	0	0	0	1	0	0	5	0	2	0	1	9
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	2	6
精神科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
歯科	4	3	2	3	1	2	2	2	2	2	2	1	26
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	5
合計	5	3	2	3	2	2	2	7	6	6	4	8	50

◎コスモス

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	4
精神科	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	14
合 計	1	1	1	1	3	2	1	1	2	1	1	3	18

◎サクラ

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1	0	0	1	2	0	2	4	1	3	2	1	17
精神科	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	15
歯科	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	2	0	5
整形外科	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	4
耳鼻科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合 計	2	1	3	2	3	4	3	5	5	5	6	3	42

(7) 日中活動

日中活動の事業所とは必要に応じて連携を取り、入居者の状況や支援の方向性での情報共有をした。相談支援事業所や医療機関、ヘルパー事業所とも連携し、定期的及び必要に応じ随時、ケース会議を開催した。

新規入居者に対しては、サービス担当者会議の頻度を増やして、緊密な連携体制を構築した。

(8) レクリエーション・行事

初詣や誕生日会、クリスマス会を開催し、コミュニケーションを図った。

地域の催しとして5月のこどもフェスティバル、8月の摂津祭り、11月の輪い輪い祭りと三中フェスタ、12月の風船バレーボール大会にそれぞれ参加した。

他、各公民館やコミュニティーセンターで開催されるイベントには利用者の希望に沿って、可能な限り参加した。

大阪府障がい者スポーツ大会にも参加し、他事業所の方々との交流を図った。

(9) 災害防止・防犯対策

各ホームに災害時の避難場所とハザードマップを活用した危険個所、災害時の連絡方法を記載した書類を目に付く場所に掲示し、有事の際に円滑に確認出来るように配慮した。また、備蓄食料も常備した。

摂津警察署と連携し、ホーム周辺の巡回を依頼し防犯対策を講じた。

夜間支援を行い、夜間の見守りや排泄介助等の個別支援、緊急時の迅速な対応に備えた。夜間巡回の際に、火元の確認等の点検を行った。

(10) 職員研修等

外部講師を招いての7月26日に開催された会計勉強会に参加した。

今年度は数多くの外部研修に職員を派遣し、地域福祉や、高齢期の障がい者支援や発達障がい児・者の理解を深める研修等、共同生活援助を取り巻く環境を広義的な目線で理解し、知識を深める事に重点を置いた。

各研修で得た知識や情報は、世話人会議等での伝達研修を行った。

◎ 研修会

(人)

実施月日	研修名	場所	主催	参加者
5月12日 5月19日 6月10日	コミュニティー ソーシャルワーカー 養成研修	大阪国際交流 センター	大阪府社会福祉協議会	主任
6月16日	地域福祉コーディネータ ー基礎研修	大阪社会福祉指導 センター	大阪府社会福祉協議会	
6月27日		大江ビル		
7月20日		大阪社会福祉指導 センター		
7月28日		大阪府社会福祉会 館		
8月8日		大阪社会福祉指導 センター		
7月5日 7月14日	相談支援従事者初任者研 修(2日過程)	ビッグアイ	大阪府障害者福祉事業団	支援員
7月20日 21日	甲種防火管理者講習会	摂津市消防本部	摂津市消防本部	サビ管
7月26日	コミュニティーソーシャ ルワーカー事例検討会	松下IMPビル	大阪府社会福祉協議会	主任
8月21日 22日	全国グループホーム等 研修会 in 福井	福井県フェニックス プラザ	日本知的障害者福祉協会	支援員
11月30日	大阪府障がい者虐待防 止・権利擁護研修	ビッグ・アイ	大阪府	サビ管
12月5日	地域協働研修	大阪社会福祉指導 センター	大阪府社会福祉協議会	主任
12月11日	知的障害者の高齢期の暮 らしを考える	大阪国際交流 センター	大阪府社会福祉協議会	支援員 世話人
1月17日	発達障がい児者の障がい 特性の理解	摂津市コミュニ ティープラザ	摂津市障害者地域自立 支援協議会	管理者

1月25日	近畿地区グループホーム 等職員研修会 in 奈良	奈良県社会福祉 総合センター	近畿地区知的障害者 施設協会地域支援部会	サビ管
3月22日	虐待防止研修	摂津市コミュニ ティープラザ	摂津市	世話人

◎ グループホーム連絡会

実施日時	場 所	参加事業所
7月10日	バクかふえ	4事業所
11月6日	バクかふえ	4事業所
2月6日	バクかふえ	4事業所

◎ 世話人全体会議 伝達研修

(人)

実施月日	開催場所	参加者
4月27日	みきの路	20
6月29日	みきの路	21
7月27日	みきの路	20
8月24日	みきの路	20
10月26日	みきの路	13
11月30日	みきの路	18
12月21日	みきの路	14
1月19日	みきの路	10
2月22日	みきの路	18
3月22日	みきの路	17

◎ ホーム別世話人会議

(人)

実施月日	ホーム名	参加者
9月11日	サルビア	9
9月28日	ガーベラ	7
10月26日	オリーブ	5
11月30日	サクラ	4
11月30日	コスモス	6

3 摂津市立児童発達支援センター

I 児童発達支援センター「つくし園」

(1) 概況

つくし園は、児童発達支援センターとして、発達に課題のある子どもたちを対象に障がい特性へのきめ細かい配慮を行う『障害児相談支援』、保育所・幼稚園・学校等を訪問し、発達に課題のある乳幼児、児童に対し集団生活への適応のための専門的な支援や教職員に対するアドバイス、その他の必要な支援を行う『保育所等訪問支援』、そして通園を中心とした『児童発達支援』の三つで児童発達支援センターの指定要件であるすべての事業を行っている。

就学前の障がい種別を問わない乳幼児の心身ともに豊かな発達を促す療育を行い、様々な発達の遅れや課題を有している子どもに対して、保護者の子育て支援・家族支援を行いつつ、子ども個々の発達を促すことのできる環境を提供することに主眼を置いた療育・保育を行った。

平成29年度から新たに発達や療育上の課題のある親子を対象とした『くまさん親子教室』の委託を受け、遊びをとおして親子の関わりを促進し、子どもの成長と親の子どもへの理解や親自身の気づきを目指す教室を、児童発達支援センター及び子育て総合支援センター保育所にて週1回の各2クラスを実施した。

進路指導に関しては全利用児を対象にクラス面談及び個別面談を行い、就学を迎える4名については、市教育委員会に園の進路指導に関する取組みを理解していただき、対象校区の小学校及び摂津支援学校で保護者見学の機会を設け、対象児の体験入学等を実施し進路決定に繋げた。

また、成長発達にとってより良い環境を求め、幼稚園へ3名、保育所へ4名の移行に結びつけ、進路決定後もスムーズに移行できるように進路先の見学・引き継ぎの機会を設け、卒園・退園修了した11名に対してアフターフォローに努めていく。

(2) 療育の状況

発達の遅れがある園児について障がいの程度や発達段階に応じて集団や個別の方法で療育した。

- ①クラス編成は単独通園クラス2クラスと母子通園クラス1クラスとし、年齢、発達状況、母子関係を考慮した個別プログラムを立て療育を行った。母子クラスでは単独クラスへの移行を見通して通園形態を変更したり、園児の発達状況に応じたきめ細かな取組みを実施した。
- ②食事、排泄、着脱など基本的な生活習慣の習得をねらい、習慣化による動作の体得や認知面の発達を促し生活のリズムを整えるように援助した。
- ③遊びやいろいろな行事を通して人との関わりを持ち、ことばを育み、心身の豊かな発達を促した。

同一の設定保育で個々の発達状況により課題別にグループ編成をしたり、就学予定児への訓練プログラムも実施した。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士との連携により助言、指導を受けた。

④行 事

実施日	行事名	場 所	参加者 (人)	内 容
4月5日	保育説明会	園 内	園 児 17 保護者等 20	保護者に通園における諸規則、注意事項を説明。

実施日	行事名	場 所	参加者 (人)	内 容
5月14日	日曜参観	園 内	園 児 18 保護者等 45	保護者（特に父親）が療育内容と子どもの様子を知り理解を深める機会とした。
7月7日	七夕まつり	園 内	園 児 22 保護者等 7	季節の行事として経験の拡大を図った。
7月28日	夕涼み会	園 内	園 児 23 保護者等 131	児童発達支援センターの利用対象児、OB・OG、保護者、職員の交流を行った。
10月6日	遠 足 (母子クラス)	摂津市立第I 児童センター	園 児 8 保護者等 9	母子通園クラスの在籍園児の集団としての活動で、親子で楽しんだ。
10月11日	遠 足 (単独クラス)	万博 自然文化園	園 児 8	単独通園クラスの在籍園児の集団としての活動を楽しみ、経験拡大を図った。
10月13日		摂津市立 三島公園	園 児 8	
11月3日	運動会	鳥飼体育館	園 児 27 保護者等 239	保育の運動面の取り組みについて保護者と成長や課題を確認する機会とした。
12月15日	クリスマス会	園 内	園 児 27 保護者等 33	保護者と一緒にクリスマス会を楽しんだ。
2月18日	生活発表会	園 内	園 児 29 保護者等 89	一年の総まとめとして子どもたちの発達を保護者と確認し成長の糧とした。
3月13日	お楽しみ会 (単独クラス)	万博 自然文化園	園 児 20 保護者等 20	単独通園クラスの最後の行事として親子が一緒に体を動かして楽しむ
3月22日	卒園式 修了式	園 内	園 児 26 保護者等 33	卒退園・一年の修了を祝った。

行事については・通常の保育形態で実施する行事 ・季節の行事 ・保護者と協力して実施する行事 ・家族参加の行事に分類される。

園児個々の発達段階を考慮して各クラスあるいは全体での行事として内容を考慮し実施した。園児が安全に楽しみ、力を発揮できる環境を整えるため、職員ボランティア、OB・OG保護者ボランティアの導入により個々の園児にスポットが当たる行事とすることができた。

⑤家庭との連携

園と家庭との連携のため、行事の参加はもとより以下の取組みを実施し、園児の発達に共通の認識を持ち正しく園児を理解できるよう努めてきた。

項 目	実 施 内 容
家 庭 訪 問	園児の生活基盤である家庭の状況を把握するため入園後に実施した。また必要に応じて実施した。
個 別 面 談	各担当者が母親との信頼関係を築きながら、生活習慣と発達の援助について園と家庭での様子に関する情報交換を行い、課題に取り組んだ。主に進路のことなどについて精神的な援助やアドバイスを行い自己決定できるように促した。 (年4回、その他随時)

項 目	実 施 内 容
ク ラ ス 面 談	各クラスの状況に応じた取組みや課題設定についての説明。母親がクラスの中で他人の意見が聞けて自分の意見を言えるようになり、互いに協力しあってより子どもに向き合っているように促した。 (毎月1回)
3 者 面 談	進路の決定や家族の障がい受容に向けて、必要に応じて父親も参加しやすい日曜日に面談を実施した。 (随時)
合同親子保育	全園児、全保護者を対象とした取組みを行った。2クラス合同で行うことによりクラス間の交流、全体としてのまとまりをねらいとして実施した。午後は、母親教室を実施することが多かった。 (月1回)
単独クラス 親子保育	単独通園クラスの保護者を対象とした取組みを行った。親子で登園し子どもを見ながら園と家庭との様子の違いなどの情報交換・園と家庭の役割・協力体制を整えることを目的として実施した。 (月1回)
保 育 参 観	計画に基づいての参観は給食参観・日曜参観・生活発表会の事前練習参観を実施した。また、保護者が園での子どもの状態を把握する目的での参観も、随時受け入れた。
連絡ノート	日々の園と家庭での子どもの生活状況・食事内容・健康状態などの伝達手段として、保護者の育児に対する考え・姿勢・問題点を把握し、園の取組みに対する理解を促し、アドバイスをを行った。 (毎日)
園 だ よ り	近況紹介、新入園児の紹介、月間予定、給食だより（献立表）連絡事項などの内容で保護者、関係機関に配布した。 (毎月)

*母親教室

園児の発達に関する学習や講習による技術習得を行い、保護者の悩みの軽減による精神的なゆとりを持つ事等が子育てにとって何より重要であり、年5回児童発達支援センター職員である訓練士、心理士等より講話を行った。

⑥進路指導

子どもの発達にとって望ましい環境を提供し、スムーズな移行と適応を図るための取組みとして、就学児については進路説明会を行い、教育委員会を窓口、対象校（地域小学校と支援学校）の見学と体験入学の打ち合わせを行った。学校に体験入学の主旨や、園児の状況に対する理解を促した上で、体験入学を実施し、保護者が進路について十分な理解と検討をした上で、教育支援会議を迎えるという手順を踏んだ。就園（幼稚園、保育所）についても進路説明会を行い、進路先に対する理解を促し、必要に応じ体験入園や一日保育を行った。

(保護者懇談会)

(人)

実施日	内 容	保護者
5月26日	就学児進路説明会	3
6月1日	幼保進路説明会（年中）	4
6月8日	幼保進路説明会（年少）	7

(小学校・支援学校小学部)

(人)

実施日	対象機関	内 容	対象児
5月25日	鳥飼西小学校	取組説明	1
6月9日	鳥飼北小学校	〃	1
6月13日	鳥飼西小学校	見学	1
6月21日	鳥飼北小学校	〃	1
6月26日	摂津支援学校 小学部	見学会	4
7月26日	摂津市 教育委員会	教育相談	4
9月21日	摂津支援学校 小学部	体験入学	3
10月16日	鳥飼西小学校	〃	1
10月24日	鳥飼北小学校	〃	1
12月7日	教育支援会議	検討会議	5

(幼稚園・保育所)

(人)

実施日	対象機関	内 容	対象児
1月11日	鳥飼保育所	一日保育	1
1月16日	子育て総合支援センター保育所	〃	2
1月24日	べふこども園	体験入学	1
1月29日	せつつ幼稚園	〃	2

(3) 健康管理

園児の健康状態の把握には常に家庭と連絡をとり、必要に応じて医療機関・保健所との連携に努め、助言、指導を受け療育に活かしてきた。特に衛生状態には細心の注意を払い対応した。日々の取組みとしては、戸外遊びなどを多く取り入れ、体づくりを行うとともに歯磨き指導や給食時における食事指導による健康づくりを実施してきた。

5月より園庭に日除けネット、ミストシャワー等を設置し、快適な園生活になるように努めた。健康診断は次のとおり実施した。

①内科医健診

健 診 日	6月12日、11月30日

②その他健診、検査

健 診 日	内 容
5月11日	耳鼻科健診
5月12日	尿 検 査
5月23日	歯科健診

(4) 給食調理

園児の心身の健全な発育、発達、健康の維持増進、体力の向上を図るため質・量ともに適切な食事を提供することに努め、園児及び園生活の現況に即した給食提供を行った。

給食業務をウオクニ株式会社に業務委託を行い、大量調理マニュアルに沿った衛生管理の充実に努め、月1回の同社の調理員・営業と施設側の施設長・保育士・児童指導員・栄養士で給食会議を実施した。また給食会議とは別に、調理員と施設側の保育士・児童指導員の会議も月1回実施し、喫食状況の把握、園児の状況に配慮し調理形態を工夫した給食提供をした。

家庭との連携のため月1回給食だより・献立表の配布を行った。

(5) 通園児の状況

①通園状況

(延べ人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
母子クラス 園児数	111	136	138	132	116	114	119	112	91	86	100	101	1,356
単独クラス 園児数	162	180	243	228	207	272	308	304	302	275	335	334	3,150
園児数合計	273	316	381	360	323	386	427	416	393	361	435	435	4,506

②年齢別

(人)

年齢	3才	4才	5才	6才	計
男	5	7	7	4	23
女	2	4	1	0	7
計	7	11	8	4	30

③障がいの状況 (原疾患・合併症・診断名)

(人)

区分	発達遅滞	染色体異常	自閉症 スペクトラム障害
男	23	0	8
女	7	1	2
計	30	1	10

④療育手帳の所持

(人)

区分	A	B1	B2	所持無	計
男	2	2	1	18	23
女	0	1	0	6	7
計	2	3	1	24	30

⑤身障手帳の所持 (人)

区分	1級	2級	計
男	1	0	1
女	0	1	1
計	1	1	2

⑥進路の状況 (人)

区分	保育所	幼稚園	支援学校	地域小学校	計
男	4	2	3	1	10
女	0	1	0	0	1
計	4	3	3	1	11

(6) 障害児相談支援

児童発達支援センターの地域支援の一つに位置づけられ、子どもたちの抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行った。

①利用状況 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
身体障がい	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	4
重症心身障がい	1	2	1	1	0	0	0	2	1	0	1	2	11
知的障がい	7	2	9	6	8	9	8	4	3	8	5	2	71
発達障がい	4	5	4	4	6	6	0	5	4	1	3	2	44
その他	0	0	2	2	1	2	0	0	1	1	1	2	12
計	13	9	16	13	17	17	8	11	9	10	10	9	142

②支援内容 (人)

福祉サービスの利用等に関する支援	257	保育・教育に関する支援	18
障がいや病状に関する支援	10	社会参加・余暇活動に関する支援	0
健康・医療に関する支援	0	その他	13
不安の解消・情緒安定に関する支援	2		
家族関係・人間関係に関する支援	0	計	300

(7) 保育所等訪問支援

保育所等を訪問し、発達に課題のある子どもたちに対して、他の子どもたちとの集団生活への適応のための専門的な支援その他必要な支援を行った。

実施状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
公立保育所	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	9
私立保育所	8	5	9	6	6	8	12	8	6	6	6	1	81
公立幼稚園	5	5	5	5	5	5	4	6	6	5	3	0	54
私立幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学校	1	2	2	2	4	4	3	3	2	1	2	0	26
計	14	12	16	13	15	17	28	17	14	12	11	1	170

(8) くまさん親子教室事業

発達や療育上に課題のある概ね2歳から3歳児の幼児及び保護者の親子を対象に、1日10組で1クール半年で実施した。入室希望者が多かったため、週4回実施した。

実施状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月曜日	7	22	24	22	14	23	28	26	23	17	19	13	238
火曜日	8	22	23	25	20	29	33	23	21	23	27	15	269
木曜日							15	11	13	11	16	11	77
金曜日	8	12	27	17	14	30	21	19	22	17	29	17	233
計	23	56	74	64	48	82	97	79	79	68	91	56	817

(9) 日中一時支援事業

日中一時支援事業（市町村事業）として、障がい児に対し長期休暇や放課後の預かり、保護者のレスパイト支援の一環として、障がい児やその家庭の福祉向上を図るために、日中活動の場として受入れを行った。

利用実績

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数	1	1	1	1	1	4	1	1	3	2	4	4	24

(10) 各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携をとるため、次のとおり会議を開催した。

1. 施設連絡会議（毎月2回）
2. 行事会議（随時）
3. ケース会議（随時）
4. 家庭児童相談室との会議（判定会議等）
5. 処遇会議（毎日）
6. 給食会議（月1回）
7. 総括会議（年度末）

(1 1) 災害防止対策

通園児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災を想定した避難訓練・消火訓練（総合訓練を含む）を月に1回実施した。(人)

実施日	想定災害	訓練内容	参加者			
			園児	保護者等	職員	合計
4月14日	火災	避難訓練	21	10	8	39
5月19日	〃	〃	18	7	10	35
6月23日	〃	総合消防訓練	20	17	16	53
7月27日	〃	避難訓練	14	1	10	25
8月25日	〃	〃	22	7	11	40
9月5日	震災	〃	22	22	15	59
10月27日	火災	〃	18	6	11	35
11月17日	〃	〃	25	8	11	44
12月20日	〃	〃	21	13	11	45
1月24日	震災	〃	16	15	13	44
2月21日	火災	〃	26	6	11	43
3月26日	〃	〃	19	3	11	33

(1 2) 防犯安全対策

通園児や職員の安全を確保するため、防犯訓練を実施し環境整備に努めた。安全点検簿を作成し、敷地内の点検を日々行い、事故等の未然防止、危険箇所の把握・改善に取り組んだ。

実施日	参加人数
5月17日	15名

(1 3) 職員研修

日常の療育活動に必要な知識、技術を習得し、職員の資質を高めるため研修会等へ参加した。

研修日	研修名	開催場	主催	職種
4月19日	新入職員のための サービスマナーセミナー	大阪市	大阪府 社会福祉協議会	心理士
5月30日	大阪府茨木保健所管内集団給食 研究会 総会	茨木市	大阪府	栄養士
6月7日	第1回感染症・食中毒予防対策 講習会	大阪市	社会福祉協議会	〃
6月8日	指定障がい児支援事業者等集団指導	〃	大阪府	施設長
6月27日	摂津市就学前教育研究会	摂津市	摂津市	主任

研修日	研修名	開催場	主催	職種
6月29日	第1回北摂ブロック栄養士研究会	茨木市	茨木市	栄養士
7月6日	大阪府障がい児等療育支援全体研修	大阪市	大阪府	施設長
7月21日	安全運転管理者等講習会	摂津市	〃	〃
8月2日	摂津支援学校公開研修会	摂津市	摂津支援学校	施設長代理
9月9日	発達障害のある子どもの 感覚の問題の理解	高槻市	大阪医科大学 LDセンター	心理士
9月25日	児童福祉施設研修会（食事提供）	大阪市	大阪府	栄養士
9月27日	第2回北摂ブロック栄養士研究会	茨木市	茨木市	〃
〃	乳幼児期の食に関する講座	〃	〃	〃
10月3日	発達障がい児者支援のいま	大阪市	大阪府	心理士
10月17、18日 11月28日	大阪府相談支援従事者初任者研修	堺市	〃	保育士
11月8、9日		大阪市		
10月18日	特定給食講演会	大阪市	大阪府	栄養士
10月26日	ブロック別児童福祉施設給食関係者 研修会	堺市	厚生労働省	〃
10月31日	東大阪市立第一はばたき園の療育について	東大阪市	大阪知的障害者 福祉協会	主任
12月3日	精神分析と発達研究からとらえる子ども の心	京都市	京都府臨床 心理士会	心理士
2月2日	知的障がい（行動障がい）の 理解と支援	大阪市	大阪知的障害者 福祉協会	児童 指導員
2月15日	第3回北摂ブロック栄養士研究会	箕面市	茨木市	栄養士
3月26日	第4回北摂ブロック栄養士研究会	茨木市	〃	〃

(14) 施設実習生の受け入れ

児童発達支援センターが地域における社会資源として、外部からの実習生を受け入れた。

実 習 期 間	学 校 名 等	内 容	人 数
8月28日～9月8日	関西福祉科学大学	保育実習	1
9月25日～10月16日	大阪保育福祉専門学校	〃	1
2月20日～3月5日	京都光華女子大	〃	1

(15) 他機関との連携

①子育て支援ネットワーク推進会議

実 施 日	事 業 名	出 席 者
6月26日、10月24日 2月15日	第五中校区地域教育協議会 役員会	施設長
5月31日	子育て支援ネットワーク推進会議代表者会議	〃
6月26日、3月6日	第五中校区地域教育協議会 総会	〃
7月21日、9月26日 3月5日	地域子育て連絡会実務担当者会議	保育士
8月9日、11月8日、 1月10日、2月7日	第五中校区地域教育協議会 子育て支援部会	施設長
7月21日	鳥飼地区子育て支援活動担当者会議	保育士
11月13日	オレンジリボン街頭キャンペーン	施設長
1月21日	第五中校区連携事業 たこづくり・たこあげ・ゲーム大会	施設長他
1月31日	親子ランド in 鳥飼 会議	施設長
3月20日	親子ランド in 鳥飼	施設長 保育士

平成29年度も第五中校区連携事業たこあげ・ゲーム大会は、地域の団体と連携して校区の鳥飼小学校、鳥飼東小学校、第五中学校、とりかい保育園、とりかいひがし遊育園、そして当園の対象児が一堂に会し楽しむ事ができた。

②摂津市児童発達支援事業所連絡会

市内の事業所が集まり連絡会を開催する。情報交換、スキルアップを図り、全体的な支援体制を向上させるというねらいで実施する。

実施日	内容	参加事業所	開催場所
7月19日	個別支援計画について	11事業所	児童発達支援センター

実施日	内容	参加事業所	開催場所
2月20日	個別支援計画について	11事業所	児童発達支援センター

③その他

* 摂津市要保護児童対策地域協議会

つくし園在園児の家庭での様子や親子関係から虐待の疑いがある場合は、要保護児童対策地域協議会と連携をとり、情報交換をして子どもの安全に努めた。

* アフターケア

卒園児が就学した小学校へ担当者が出向き、就学先や卒園児保護者からの相談に対応した。また、退園児が入所した保育所にも担当者が出向き、アフターケアを行った。また運動会や発表会等の行事に出向いたり、他機関との接点がある度に、関係者から情報を収集するなどして卒退園児の状況把握に努めた。

* ボランティア

夕涼み会にて人形劇にボランティアグループのころりんぼっけ4名と千里リコーダーアンサンブル6名の参加を得た。

* 職業体験

市内の中学校の二年生を対象とした取組みである職業体験学習を二日間受け入れた。

実施日	学校名	参加者
11月9日、10日	市立第五中学校	女子1名

II 障害児通所支援施設「めばえ園」

(1) 概況

めばえ園は、児童福祉法による通所利用の障がい児に対する支援を行う身近な療育の場として、未就学児を対象に「児童発達支援事業」、就学児を対象に「放課後等デイサービス事業」を実施した。併設しているつくし園内の利用児の相談支援及び行政機関（保健福祉課、子育て支援課）で受けられたのち、障害児相談支援事業所で作成される障害児支援利用計画書に基づき、理学療法・作業療法・言語療法の訓練領域について、個々の課題に沿う訓練を保護者との連携のもと実施した。心身その他状況に応じて、生活に関する相談及び助言等も行った。

また、保健福祉課、子育て支援課からの依頼のケース観察・評価が年間106件（28年度比較24件増）、保育所の巡回指導が5件、小学校の巡回指導及び来園相談が29件あった。各関係機関からの協力依頼に基づき連携・協力を努めた。

めばえ園では今後も摂津市の子どものために関係機関との連携を密にとり、社会や利用者のニーズに応じていけるよう更なるサービスの向上を図っていく。

(2) サービスの状況

① 理学療法

グループ訓練と個別訓練を発達段階に応じて実施した。グループ訓練では保護者指導もかねて、母子で訓練を行った。利用児への対応と発達段階の認知など、子どもが学習をして発達していく段階をスムーズに認知できるよう促した。個別訓練では感覚、運動レベルの機能障害に対しての訓練指導のみならず、利用児を取り巻く生活環境や家族関係等への指導助言も、丁寧に行い、訓練とともに成果をあげた。

② 作業療法

知覚、認知、概念の学習や日常生活動作指導、手指機能訓練を主として行った。

利用児を取り巻く生活環境や生活場面での状況に応じて、指導助言も丁寧に行い、訓練指導によって行動の安定、集中力の強化、コミュニケーションの拡大などにつながり、場面適応が改善されてきた。グループ訓練と個別訓練を、発達段階に応じて実施した。

③ 言語療法

口腔器官、聴覚器官だけの障害でなく、それらを制御する中枢器官に問題のある場合が多い中で早期治療が行われる事によって、伝達、思考、記憶への発達面の援助を行ってきた。

④ グループ訓練

児童発達支援事業として母子ともに、めばえ園を利用しての日中活動が必要なケースに対し、グループ訓練を実施した。対象児は「目と手の協応・運動の協調性などに課題をもち、小集団でのきめこまやかな援助・指導を必要としている幼児」で、発達的な課題のみならず、環境的な要因からくる課題や、能力的なばらつき等も「障がい」とみなし、利用する子どもも「障がい児」としてサービス提供をしてきた。

⑤ 送迎サービス

利用児の利便性向上のためニーズに応じて送迎サービスを実施した。

⑥ 障害児通所給付費支給申請の援助

障害児通所給付費の支給期間終了を迎え、継続が必要な利用児の支給申請についての援助を行った。

⑦ 家庭との連携

園と家庭との連携において、訓練には母子で来園することにより利用児への対応と発達段階をより理解し、子どもが学習し発達していく過程をしっかりと受容できるよう促すとともに、共通の認識を持ち正しく利用児を理解できるよう努めてきた。

毎月1回施設だよりを掲示し、必要に応じた電話連絡等により家庭との連絡を取り合ってきた。

⑧ 関係機関との連携

就園、就学した利用児について、受け入れ機関との連携により担当者が訓練場面の見学のために来園したり、こども教育課の春・秋期の保育所巡回指導で理学療法士と作業療法士が同行して、助言や意見交換を行うなどした。つくし園児の進路指導においても、必要に応じて助言をした。

また、訓練に双方の職員が入り意見交換を行うなど、利用児がつくし園に入園した場合、常時連携に努めた。

(保育所 巡回指導)

実施日	対象機関
6月14日	鳥飼保育所
6月22日	私立 とりかい遊育園
6月27日	私立 正雀ひかり保育園
7月27日	私立 こみち幼稚園
8月4日	私立 かおり幼稚園

(来園相談・見学)

実施日	対象機関
5月1日、9月27日 12月11日	鳥飼西小学校
6月12日、10月17日 12月5日	鳥飼北小学校
6月29日、7月14日 7月20日、10月31日 11月14日、11月21日 12月12日	別府小学校
8月10日、8月31日 11月7日、11月28日	摂津小学校
10月19日、11月9日 11月30日	千里丘小学校
10月20日、11月20日 11月27日	味生小学校

実施日	対象機関
10月30日、11月15日	鳥飼小学校
11月10日11月17日	三宅柳田小学校
11月13日	味舌小学校
12月8日	鳥飼東小学校

(他機関との会議等)

実施日	内容
9月13日	障害児相談連絡会

(3) 健康管理

利用児の健康状態の把握には常に保護者と連絡調整を図り、必要に応じて医療機関・保健所との連携に努め助言・指導を受け訓練に活かしてきた。特に衛生状態には、細心の注意を払い対応した。

(4) 通園児の状況

(人)

月別	開所日数	就学児	未就学児	合計
4	20	56	59	115
5	20	84	57	141
6	22	71	58	129
7	19	89	65	154
8	18	74	63	137
9	20	87	51	138
10	21	104	47	151
11	20	98	48	146
12	20	97	28	125
1	19	96	35	131
2	19	122	27	149
3	21	113	35	148
合計	239	1,091	573	1,664

(5) サービス別の利用状況

(人)

	サービス別							観察	つくし 個別 指導	延人数
	理学療法		作業療法		言語療法		グループ 訓練 水			
	放	児	放	児	放	児				
4	7	9	29	38	8	12	12	8	6	129
	16		67		20					
5	9	13	44	32	12	12	19	10	12	163
	22		76		24					
6	9	13	32	34	14	11	16	10	10	149
	22		66		25					
7	10	13	43	39	14	13	22	9	11	174
	23		82		27					
8	5	15	40	38	11	10	18	11	10	158
	20		78		21					
9	8	12	42	28	16	11	21	6	21	165
	20		70		27					
10	10	13	54	23	19	11	21	8	13	172
	23		77		30					
11	8	13	48	26	19	9	23	7	11	164
	21		74		28					
12	8	11	59	14	15	3	15	11	12	148
	19		73		18					
1	9	8	49	19	15	8	23	8	7	146
	17		68		23					
2	13	12	64	8	18	7	27	13	8	170
	25		72		25					
3	13	11	68	14	16	10	16	5	11	164
	24		82		26					
合計	109	143	572	313	177	117	233	106	132	1,902

※「放」…放課後等デイサービス、「児」…児童発達支援事業

(6) 各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

1. 施設連絡会議 (毎月2回)
2. めばえ意見書会議 (年2回)
3. 家庭児童相談室との会議 (判定会議、随時)
4. 行事会議 (随時)
5. 処遇会議 (毎日)

(7) 災害防止対策 (つくし園と同様)

利用児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災を想定した避難訓練・消火訓練(総合訓練を含む)を月に1回実施した。

(8) 防犯安全対策 (つくし園と同様)

通園児や職員の安全を確保するため、防犯訓練を実施し、環境整備に努めた。安全点検簿を作成し、敷地内の点検を日々行い、事故等の未然防止、危険箇所の把握・改善に取り組んだ。

(9) その他 (施設実習生の受け入れ)

(人)

実 習 期 間	学 校 名 等	内 容	人 数
2月1日、2日	兵庫医療大学リハビリテーション学部 作業療法学科	作業療法実習	2
2月13日、14日			1

4 摂津市総合福祉施設「ふれあいの里」

I 多機能型事業所 「摂津市立ひびきはばたき園」

(1) 概況

ひびきはばたき園では、総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）・地域生活支援事業の移動支援・日中一時支援の各事業を実施した。

今年度は、今まで市内になかった新たなサービスとして自立訓練（生活訓練）を開設した。自立訓練（生活訓練）では、2年を年限として自立した地域生活を送るうえで必要な生活や社会スキルの習得を目指し、一人ひとりの能力に応じた取り組みを実施した。

就労移行支援では、2年間においてより実践的な職業訓練・就職活動を行い、4名の利用者の就職が決定し、就労後においても定着支援に努めた。

そして、就労継続支援 B 型では、市から要請を受けて開始した「小型家電リサイクル事業（希少金属の再資源化）」を本格的に実施し、また、施設外就労「トレイ選別リサイクル事業」も併せ、昨年以上に充実した取り組みができた事によって、工賃向上を図る事ができ、利用者の就労意欲の向上と地域生活での潤いに繋がった。

生活介護では、法人内で同じ事業を実施する「みきの路」と連携し、利用者にとっての利便性・サービスの質の向上、送迎にかかる経費削減を目的に、「ドアツードア」での送迎を実現させた。また、両施設の強みや特徴を活かしながら、関係性を深める為に交流事業も実施した。

更に、サービス向上と給付費の増収を図るため、夏季・春季休暇を廃止した。

ひびきはばたき園では、職員の意識改革と今後の事業及びサービスの展開の礎を築くことを狙いとし、職員の資質向上・意識の統一を図りながら、福祉を支える人材育成に努め、利用者が求める良質なサービス提供ができるように努めた。

(2) 支援の状況

■生活介護

生活介護では、利用者一人ひとりに応じた、専門的知識・技術に基づく「日中活動の場」を提供し、安全性の確保や園内支援の充実に重点を置いた取組みを実施した。その中でも、生産活動と園外活動については、内容を検討し充実を図った。支援にあたっては、個別性を重視し、また、本人のニーズを優先しながら個別支援計画を作成し、それに基づいて5クラスに編成して療育活動、作業訓練、生活支援を中心にしたサービスの提供を行った。

①個別支援計画

多様化した個別のニーズに応じるため、個別支援計画の作成、個別アプローチ、個別に応じたサービスを提供した。また、緊急時の対応については、状況に応じて適切な支援を行った。

②支援者づくり

障がい者の『自立』には、支援者は必要不可欠である。一人でも多くの理解者や、サポートを得るために積極的にボランティアを受け入れ、制度サービスの活用にも努めてきた。

平成24年2月に、当園が移動支援事業「てくてく」を開始して以降、積極的にガイドヘルパーの利用を促してきた。併せて、家族に対しても制度サービスの利用について働きかけた。

③日中活動の充実（療育活動・作業訓練・生活支援）

個別支援を基本とし、個別プログラムの充実や安全面の確保から、今までの活動内容・障がい程度を基準に、いきいき・わくわく・うきうき・のびのび・かがやきクラスの5クラスに編成し、個別プログラムに合わせた活動を行った。

また、理学療法士による、機能維持訓練や必要な利用者にはリハビリテーション実施計画書の作成、また、支援員への指導を行い日中活動の充実を図った。

そして、音楽療法とおやつ作りを引き続き実施した。音楽療法士による音楽療法は、音楽が持つ効果を活用して楽しく心身の健康・維持・向上を目指した。

おやつ作りでは、小グループで簡単な調理を経験し、食への興味や生活に活かす力を育むように取り組んだ。（全6回）

かがやきクラスでも、音楽療法を月4回、調理訓練を月3回実施した。

（ア）いきいきクラス

理学療法士の指導による、機能回復・維持訓練やリラクゼーション活動・リラックスタイム・気候に応じた外気浴など、ゆとりを持ったプログラムを設定し、基本的な生活習慣の獲得・向上を目指した。

（イ）わくわくクラス

集団を意識しながら、個人に応じた作業を取り入れ、和紙作業、制作活動・レクリエーションなど、個別の活動を行った。

（ウ）うきうきクラス

個別の課題に応じた作業を取り入れ、和紙作業、運動・散歩・レクリエーションなど情緒面での安定を得ることで、集団を意識できる活動を行った。

（エ）のびのびクラス

作業の導入が必要な利用者に対して、和紙作業を通して生産活動を行ったり、制作活動・レクリエーションなどの集団を意識できる活動を行った。

（オ）かがやきクラス

利用者の健康維持管理に努め、理学療法士による機能回復・維持訓練を個別に実施した。音楽療法・調理訓練や作業療法・集団体操など多彩なプログラムを提供するなか、個々に応じた活動を実施した。

④生活支援

利用者一人ひとりのニーズに応えるために個別支援計画（6ヶ月ごとに見直し）をもとに個別へのアプローチ、個々に応じたサービス支援を行った。緊急時の対応としても、その場その場で必要に応じた適切な支援を行った。

■就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

就労移行支援では、日々の訓練で「就労する」素地を育み、就労活動・求職活動に積極的に取

り組んだ。その結果、今年度は4名の就職が決定した。また、就労継続のためのきめ細かな職場定着支援にも取り組んだ。その他、ハローワーク、茨木・摂津障害者就業・生活支援センター、せつつくすのき等の関係機関とも、昨年同様に連携を強化した。

就労継続支援B型では、障がい者の働く場と位置づけ、安定したサービスの提供を基本に、「障がい者の自立へ向けての支援」に取り組んできた。また、積極的な働きかけにより、官公需要や地域の企業からの作業受注により作業指導の活性化を図った。さらに、作業資材の入出荷、製品の配達や材料等購入などに利用者を同行させることで、社会との関わりを深める支援を行った。(株)ダイキンサンライズ摂津から受注した電気部品のコード巻き作業では、細かな点検や正確で安定した作業を評価いただき、昨年に引き続き今年度も品質功労賞を受賞した。

その他、市からの業務委託事業（食品トレー選別作業）に8名の利用者と職員で従事し、施設外就労として、就労継続支援B型利用者の訓練資源の一つとしても活用することができた。

小型家電リサイクル事業を、環境業務課・障害福祉課の協力の下、本格的に実施した。パソコンの解体に取り組む事で、作業内容の幅が広がり、充実した作業の提供ができた。

自立訓練（生活訓練）では、将来的な就職を目指す準備期間として生活能力の維持・向上、社会人としての基礎を学べるよう取り組んできた。前期（1年目）、後期（2年目）の総合的なカリキュラムや課題を定めることで、利用者の能力に沿いながら訓練を行うことができた。月1回の調理訓練を行い、調理技術の基礎を習得できた。また、年1回のマナー講習では、食事マナーと社会性を高めることができた。

①作業訓練と還元金の配分

今年度も就労移行支援では、窯業と園芸作業、就労継続支援B型では、軽作業（電気部品の加工作業、小型家電解体作業）と食品トレー選別作業に取り組んだ。

個別支援計画（就労移行支援は3ヶ月ごと、就労継続支援B型は6ヶ月ごとに見直し）に沿った支援を実施した。

また、還元金支給取扱い要綱の基に工賃を配分した。

②生活支援プログラムの充実

定期的なプログラムとしては、利用者の個別ニーズに即した内容（自治会・情報提供・運動）を実施した。

③主体性、自己決定の尊重・支援とエンパワメントを重視した支援

生活支援プログラムの中で自らの考えや思いを表現・実現できるように支援した。

④家庭生活、地域生活支援

利用者個別の家庭生活支援や地域生活支援を個別支援計画に基づいて実施した。

また、個々の事情により生活全般の支援が必要な利用者については、家庭訪問や障害福祉課や相談支援事業所と連携しながら生活支援を行った。

前年度に引き続き、家族からの支援が望めない諸事情のある利用者について「一人暮らし・自立」

への全般的な地域生活支援を実施した。また、障害者福祉課・生活支援課・相談支援事業所・その他関係機関と連携を強化しつつ、当園が軸となって支援を推し進めた。その他、「健康で安心・安全な生活が送れるよう」通院支援も実施した。

⑤ボランティアや実習生の受け入れ

社会福祉活動への一般の方の関心や参加が増加している中、ボランティア受け入れの理念統一とシステムの整備、啓発を続けてきた。実習生の受け入れについても教育への協力と捉え、積極的に受け入れてきた。

⑥その他

施設支援計画や機関誌など、利用者への情報提供や案内文等には平易な表現やひらがなやルビ、写真を使用、また苦情解決システムの充実に努めた。

⑦作業指導

■就労移行支援

- ・ 窯 業 市主催事業の記念品などの大量注文を中心に、楽土市やバザーへの出店のための製品作りや干支の置物製作・販売も並行して行い、幅広くさまざまな陶器の受注製作をこなした。また、就労継続B型・自立支援（生活支援）の利用者が、干支作業の一部に取り組むことで、作業の連携も図った。
- ・ 園 芸 ふれあいの里の一角を園芸用地とし、季節に応じた野菜や花を栽培し、ふれあいの里利用者の方々やバザーで販売した。また、園芸作業の経験を生かし、ふれあいの里内の草木の環境整備も担った。

■就労継続B型

- ・ 軽作業 株式会社ダイキンサンライズ摂津の電気部品のコード巻き作業と、サンキョーサポートからの建材電気設備部品等の作業を受注した。また、不定期作業として障害福祉課より「障害者週間」の啓発のカイロの袋詰め作業等を行った。また、毎月1回、建設会社からのダイレクトメール袋詰め作業にも取り組んだ。作業量が安定したことで、利用者一人ひとりが役割と目標をもって取り組むことができた。
- ・ 食品トレー選別作業 摂津市内から集められた食品トレーを、分別・選別を行い、リサイクルとゴミに分けた。施設外就労を行う事で、利用者の経験拡大と工賃向上に繋がり、リサイクルへの意識も向上した。
- ・ 小型家電リサイクル作業 主にパソコンを解体し、鉄・アルミ・ステンレスそして、金・銅・パラジウム等の希少金属（レアメタル）を海外流出させず国内循環し、社会に貢献できる事業である。作業の拡大と工賃の向上にも繋がった。

■自立訓練（生活訓練）

- ・ 就労移行支援、就労継続支援B型より作業提供を受け、利用者一人ひとりの適性の把握や意欲の

向上が図れた。

⑧就労活動

■就労移行支援

(人)

実施日	内 容	参加者
4月 4日	ハローワーク茨木求職活動	1
4月20日～25日	(株)JFRクリエ実習	1
5月15日	ハローワーク茨木求職活動	1
10月 2日～ 11月 6日	北部グリーンキング実習	1
10月 3日	ハローワーク茨木求職活動	1
10月 4日	障害者就職面接会 (マイドームおおさか)	2
10月23日～27日	国立大学法人大阪大学本部事務機構吹田キャンパス実習	1
12月25日・26日	フラワーショップ林実習	4
1月16日	ハローワーク茨木求職活動	2
1月30日	ミニ面接会 (エル・おおさか)	1
2月 1日	ミニ面接会 (ハローワーク大阪東)	1
2月 5日～9日	帝燃産業株式会社ウォーター事業部実習	1
2月27日	ハローワーク茨木求職活動	1
3月 2日	ハローワーク茨木求職活動	2
3月27日	ハローワーク茨木求職活動	1

⑨就職状況 (4名)

■就労移行支援

事業所名	職種	所在地
株式会社大阪染工	包装作業	島本町
株式会社 JFR クリエ *J・フロントリテイリンググループ特例子会社	一般事務及び軽作業	高槻市

エスアールジャパン株式会社	洗浄	守口市
株式会社パル Salut! クロスト梅田店	倉庫作業	大阪市

⑩生産活動（収入状況）

■就労移行支援

(円)

内 容	年間収入	事業所
陶芸作業	975,900	
園芸作業	63,260	
清掃作業	181,440	(株)セラ
空缶・古紙回収	34,710	
収入合計	1,304,870	

■就労継続支援 B 型

(円)

内 容	年間収入	事業所
電気部品の加工作業	546,864	(株)ダイキンサンライズ摂津
電気設備部品の加工作業	776,573	サンキョーサポート
建設会社DM作業	184,920	エッグ住まいる工房
ティッシュ袋詰め等請負作業	69,320	官公庁等
小型家電解体作業	425,903	摂津市役所、一般持ち込み等
食品トレイ選別作業	8,207,245	環境業務課
収入合計	10,210,825	

⑪工賃支給状況

■就労移行支援

(単位：円)

月	工賃支給総額	作業工賃		利用者数	平均工賃
4	13,760	窯業・園芸等	13,760	4	3,440
5	12,040	窯業・園芸等	12,040	3	4,013
6	8,893	窯業・園芸等	8,893	2	4,447
7	8,385	窯業・園芸等	8,385	2	4,193
8	51,719	窯業・園芸等	10,554	3	17,240
		一時金	41,165		
9	14,835	窯業・園芸等	14,835	4	3,709
10	15,266	窯業・園芸等	15,266	4	3,817
11	14,622	窯業・園芸等	14,622	4	3,656

12	123,290	窯業・園芸等	15,266	4	30,823
		一時金	108,024		
1	15,051	窯業・園芸等	15,051	4	3,763
2	14,371	窯業・園芸等	14,371	4	3,593
3	132,585	窯業・園芸等	14,743	5	26,517
		一時金	117,842		
総計	424,817	窯業・園芸等	157,786		109,211
		一時金	267,031		

工賃支給総額	平均工賃 / ヶ月
424,817	9,101

■就労継続支援B型（軽作業・食品トレイ選別作業）

（単位：円）

月	工賃支給総額	各作業工賃		利用者数	平均工賃
4	601,015	軽作業	53,250	20	30,051
		食品トレイ選別作業	547,765		
5	660,825	軽作業	43,125	19	34,780
		食品トレイ選別作業	617,700		
6	845,200	軽作業	47,160	19	44,484
		食品トレイ選別作業	798,040		
7	679,895	軽作業	50,125	19	35,784
		食品トレイ選別作業	629,770		
8	1,001,566	軽作業	47,728	19	52,714
		一時金	236,738		
		食品トレイ選別作業	717,100		
9	787,955	軽作業	43,875	18	43,775
		食品トレイ選別作業	744,080		
10	735,750	軽作業	43,500	18	40,875
		食品トレイ選別作業	692,250		
11	746,525	軽作業	43,625	18	41,474
		食品トレイ選別作業	702,900		
12	1,094,408	軽作業	42,750	18	60,800
		一時金	348,048		
		食品トレイ選別作業	703,610		
1	743,744	軽作業	43,684	18	41,319
		食品トレイ選別作業	700,060		
2	655,361	軽作業	42,631	18	36,409
		食品トレイ選別作業	612,730		

3	1,603,239	軽作業	41,310	17	94,308
		一時金	820,689		
		食品トレイ選別作業	741,240		
総計	10,155,483	軽作業	542,763		556,773
		一時金	1,405,475		
		食品トレイ選別作業	8,207,245		

工賃支給総額	平均工賃 / ヶ月
10,155,483	46,398

(3) 行事

行事指導は、生活指導の一環として位置付け、種々の生活場面を導入し、レクリエーション的要素・学習的要素を含む取組みにより知識・経験の拡大を図った。

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練） (人)

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
10月28日	摂津宥和会 運動会 雨天中止	市立三宅柳田小学校		法人内の施設の利用者・OBとボランティアが参加の運動会。
12月10日	風船バレーボール 大会	〃	利用者 生介 10 移行 3 B型 8 自立 4	市・市身体障害者福祉協会主催。希望者で参加した。
12月21日	ジャンボクリスマス 会	身障老人福祉センター 集会室	利用者 生介 27 移行 2 B型 14 自立 5	大阪人間科学大学人間科学部子ども保育学科「チーム おひさまーず」による演奏を楽しんだ。
2月17日 ～2月22日	つくっ展と輝けコン サート	市立コミュニティプラザ	利用者 生介 24 移行 4 B型 11 自立 4	作品の成果発表の場として、また、地域との交流や福祉の啓発、そして、相互理解を目的とする。

■生活介護 (人)

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
5月26日	懇親会	作業室C	利用者 21 家 族 10	利用者・家族・職員が一同に会して、音楽療法を楽しみながらコミュニケーションを図ることを目的とする。

7月18日	園外活動	西河原市民プール	利用者	3	園外に出ることで社会性を高め、日常生活では得ることの出来ない体験を味わうことを目的とする。
7月20日		〃	利用者	3	
7月25日		〃	利用者	2	
9月13日		箕面の滝	利用者	5	
10月11日		太陽が丘公園	利用者	2	
10月18日		箕面の滝	利用者	5	
11月17日		ニフレル	利用者	3	
12月15日		高槻市民プール	利用者	3	
3月15日		スプリングフェスタ	作業室C	利用者 家族	

■生活介護かがやき

①食事会

(人)

実施日	行事名	場 所	参 加 者	内 容	
6月26日	食事会	美々卯箕面店	利用者	3	園外に出て、食事を楽しむことで、潤いのある園生活を送ることを目的とする。
6月28日			利用者	5	
6月29日			利用者	4	

②社会見学

(人)

実施日	行事名	場 所	参 加 者	内 容	
11月6日	社会見学	大阪市立阿倍野防災センター・あべのキューズモール	利用者	5	日常生活で、外出が困難な利用者が園外に出て、経験の枠を広げ潤いのある園生活を送ることを目的とする。
11月9日		ホテル北野プラザ六甲荘・北野工房のまち	利用者	4	
11月15日		あべのキューズモール	利用者	3	

■就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

(人)

実施日	行事名	場 所	参 加 者	内 容
10月17日	体験学習	ボウリング&十三駅周辺散策	利用者 移行 4 B型 17 自立 5	利用者の意見を企画に反映させることで行事に対する意識を高めると共に経験の拡大を目的とする。

(4) 家庭との連携

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

定例的な個別面談や家族会などにとどまらず、必要に応じて個別面談や電話による情報交換などを行った。

項 目	実施日	内 容
個人面談 家庭訪問	随 時	個別支援計画（生活介護・就労継続支援B型は年2回・就労移行支援は年4回以上）の説明と同意を得た。 個別のケースについて必要に応じて個別に面談や家庭訪問を実施することで本人や家族の声を聞き、受容し、信頼関係を築き、問題解決を図った。
給食試食会	10月17日	平成28年度に行った嗜好調査及び利用者アンケートにおいて、日頃施設で提供している昼食を知りたいとの要望があり試食会を開催した。自宅での献立の参考にしてもらった。
家族会	5月30日	新入利用者紹介、新年度役員紹介、新年度支援体制・支援方針・年間行事計画、近況報告等について
	12月8日	年末の大掃除
機関紙	毎月1日発行	当月の予定や利用者の全般的な様子を掲載し、毎月1日に発行した。
月課表	毎月1日発行	当月の予定を配布した。
連絡帳	毎 日	毎日の連絡帳を通じて、利用者の健康状態・家庭での様子・検温・排泄時間・意見等家族とのコミュニケーションを図った。 (生活介護のみ)
電話連絡	随 時	最も迅速かつ正確な連絡方法であり、即応しなければならない場合に実施した。
その他	適 時	家族の都合により、9時から17時の間で一時預かりをする。 登園時間外は、自力での登降園となる。

①ショートステイ先との連携

家庭の事情等によりショートステイや日中一時を希望される利用者に対しての支援として、ショートステイ先に、園での様子を引き継いだ。また、各事業所とも必要に応じて引継ぎや調整、送迎等の支援を適宜行った。

②医療との連携

個別に応じて、家族の依頼に基づき円滑な通院ができるように、情報提供や病院との連携を行った。

③福祉事務所との連携

市施策や園運営・支援状況、市内障がい者福祉情勢等の情報交換を行い、利用者ニーズに十分応えられるよう、随時連絡体制を確保した。

④その他

入所前より詳細な生活内容や発達歴、各種サービスの利用を把握するために支援学校より引継ぎや助言を求めた。また、希望者については円滑な入所ができるよう、事前に進路選択等事業を利用し実習や受け入れを行った。

(5) 法人内他施設との連携

・就労支援機関事業所連絡会

摂津市障害者職業能力開発センター せつつくすのきと茨木・摂津障害者就業・生活支援センターの三施設で求人や就労活動の情報提供を密に行い円滑な支援ができるように連携を図った。

(6) 健康管理

今年度も感染症予防のため、インフルエンザ、病原性大腸菌O-157、ノロウィルスの感染拡大を防止するため手洗いを励行し、健康状態の把握に努め、家庭と園の連携で健康管理を図った。

看護師の来園時（月2回）、薬品の整理や使用方法、健康面・衛生面での助言や指導を受けたり、「保健だより」を発行して、より利用者が快適で安全な園生活を送ることができるように努めた。

■生活介護

①環境整備

- 冷暖房調節・換気、温湿度計の管理
- 薬箱・体温計の整理・管理（作業室C） ○医薬品管理
- 業者による園舎内清掃、消毒 ○手指などのアルコール消毒
- マスク

②健康の維持・管理

- 健康カード作成（個人データの整理）
- 検温（体調不良時には随時） ○血圧測定
- 理学療法士による運動プログラム
- 配慮食・きざみ食の提供
- インフルエンザ対策（手洗い・うがい励行 検温・視診）

③服薬管理

- 医療調査票作成（通院状況・服薬状況・担当医調査）
- 服薬管理（活動時間内に服薬する利用者の服薬管理）

■就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）

- ①環境整備：業者による園舎内消毒・薬品庫の整理、空気清浄機設置、ウェルパス、マスクの常備
- ②健康の保持増進：昼休みのラジオ体操、登園後のストレッチ、自治会でのゲームなど、楽しみながら運動を行った。
- ③感染症の発生防止対策：手指洗浄・消毒の徹底、うがいの励行、検温、清掃の強化及び機関紙などを通じて家庭での注意・配慮を促した。
- ④服薬管理：個人別定期通院・服薬状況表の提出を受け、ファイリングを行った。

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）

- ①観察記録：利用者の生活状況を本人や家族の了解を頂き、必要に応じて医療機関に提供した。
- ②関係機関、医療機関との連携：主治医への接見や各種記録の提出。看護師の来園（月 2 回）
随時、保健衛生に関する助言、指導を受けた。

③作成資料

- (ア) 保健だより 年 3 回発行 (イ) 通院状況表
- (ウ) 服薬調査表 (エ) 健康チェックカード

④健康診断

(ア) 内科医検診

検 診 日	6 月 12 日	11 月 30 日
-------	----------	-----------

(イ) 血圧・脈拍測定

検 診 日	4 月 28 日	10 月 5 日
-------	----------	----------

- *検診日に欠席の場合、看護師の来園日に随時測定
- *生活介護は毎月実施

(ウ) 身体測定

測 定 日	4 月 28 日	10 月 5 日
-------	----------	----------

- *検診日に欠席の場合、看護師の来園日に随時測定
- *生活介護は毎月実施（体重のみ）

(エ) その他検診、検査

歯科検診

検 診 日	6 月 6 日
-------	---------

検尿

検 診 日	5 月 16 日	9 月 8 日
-------	----------	---------

(7) 給食の提供

給食については、利用者の健康の維持・増進、生活習慣病の予防や家庭での食生活の意識向上を目指して実施している。栄養素の摂取不足によって生じるエネルギー及び栄養素欠乏症の予防に留まらず、過剰摂取による健康障害の予防や生活習慣病の一次予防も重要である。

給食業務をウオクニ株式会社に委託して 14 年目となり、月 1 回定期的に同社の営業・栄養士・調理員・施設側の支援員・栄養士で会議を行い密に連携をとった。

また、研修会などへの参加により多くの情報を得、利用者にとってより安全で楽しく、美味しく

食事をしてもらおう環境作りを考えるよう努めた。

また、サービス向上委員会において、昨年給食のサービス向上のためのアンケートを実施し、その声を反映し、今年度は10月に家族向けの給食試食会を実施した。

食事は、あくまで個人的なものであることから個人が必要とする栄養量を満たした食事摂取基準を算定し、美味しく、衛生的な食事であることにも努めた。

また、個別の栄養アセスメントにも対応できるようにした。

給食における「食生活の指針」をたて、次のとおり実施した。

- | | |
|------------|-------------------------|
| 1. 給食会議の充実 | 2. 「給食だより（献立表）」の発刊（月1回） |
| 3. 残食検査の実施 | 4. 食事提供状態の充実 |
| 5. 研修会の参加 | 6. 衛生管理の充実 |

(8) 利用者の状況

①通所状況（在籍者数は月初の人数）

■生活介護

(人)

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	28	28	28	28	28	27	26	26	26	26	26	28	
支援日数（日）	20	20	22	20	22	20	21	20	21	19	20	21	246
延利用数（人）	453	426	494	452	442	438	457	418	429	408	394	464	5,275

■生活介護（かがやき）

(人)

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	15	15	15	15	15	15	15	15	14	13	13	13	
支援日数（日）	20	20	22	20	22	20	21	20	21	19	20	21	246
延利用数（人）	74	74	85	69	84	73	72	72	68	63	67	73	874

■就労移行支援

(人)

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	4	3	2	2	3	4	4	4	4	4	4	5	
支援日数（日）	20	20	24	20	22	20	21	22	21	19	20	21	250
延利用数（人）	65	58	44	39	59	70	74	67	75	68	71	77	767

■就労継続支援B型

(人)

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18	17	
支援日数（日）	20	20	22	20	22	20	21	20	21	19	20	21	246
延利用数（人）	346	325	393	339	368	334	336	325	333	312	299	328	4,038

■自立訓練（生活訓練）

（人）

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
支援日数（日）	20	20	23	20	22	20	21	21	21	19	20	21	248
延利用数（人）	94	94	99	92	91	76	89	96	93	88	99	101	1112

②年齢別（平成30年3月31日現在）

■生活介護

（人）

性別 \ 年齢	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	4	2	5	8	19
女	0	1	4	4	9
計	4	3	9	12	28

■生活介護かがやき

（人）

性別 \ 年齢	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才	80～89才	計
男	0	3	0	0	1	2	6
女	1	1	0	3	1	1	7
計	1	4	0	3	2	3	13

■就労移行支援

（人）

性別 \ 年齢	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	0	1	1	1	3
女	0	1	1	0	2
計	0	2	2	1	5

■就労継続支援B型

（人）

性別 \ 年齢	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	0	4	1	5	10
女	0	0	3	4	7
計	0	4	4	9	17

■自立訓練（生活訓練）

（人）

性別 \ 年齢	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	1	0	1	0	2
女	0	2	0	1	3
計	1	2	1	1	5

③手帳の所持

(ア)療育手帳 (平成30年3月31日現在)

■生活介護

(人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	19	0	0	19
女	9	0	0	9
計	28	0	0	28

■就労移行支援

(人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	0	1	1	2
女	0	1	0	1
計	0	2	1	3

■就労継続支援 B 型

(人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	4	5	1	10
女	1	5	1	7
計	5	10	2	17

■自立訓練 (生活訓練)

(人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	1	0	1	2
女	0	3	0	3
計	1	3	1	5

(イ)身体障害者手帳 (平成30年3月31日現在)

■生活介護

(人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	計
男	0	2	0	1	3
女	1	1	0	1	3
計	1	3	0	2	6

■生活介護かがやき

(人)

性別 \ 級	1級	2級	3級	4級	計
男	5	1	0	0	6
女	3	4	0	0	7
計	8	5	0	0	13

(ウ) 障害支援区分 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

■生活介護

(人)

性別 \ 区分	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	計
男	3	5	9	2	19
女	1	4	4	0	9
計	4	9	13	2	28

■生活介護かがやき

(人)

性別 \ 区分	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	計
男	1	2	2	1	0	6
女	1	1	2	2	1	7
計	2	3	4	3	1	13

④通園方法 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

■生活介護

(人)

性別 \ 手段	通園車両	家族送迎	計
男	18	1	19
女	9	0	9
計	27	1	28

■生活介護かがやき

(人)

性別 \ 手段	通園車両	家族送迎	計
男	6	0	6
女	7	0	7
計	13	0	13

■就労移行支援

(人)

性別 \ 手段	路線バス	自転車	計
男	1	1	2
女	1	0	1
計	2	1	3

■就労継続支援 B 型

(人)

性別 \ 手段	路線バス	自転車	徒 歩	計
男	6	5	1	12
女	4	0	3	7
計	10	5	4	19

■自立訓練（生活訓練）

(人)

性別 \ 手段	路線バス	自転車	徒 歩	計
男	1	1	0	2
女	2	0	1	3
計	3	1	1	5

(9) 各種会議

利用者の処遇向上と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 施設連絡会議（月 2 回） | 2. 運動会実行委員会（随時） |
| 3. 作品展実行委員会（随時） | 4. 職員会議（随時） |
| 5. ケース会議（随時） | 6. 給食会議（毎月 1 回） |
| 7. サービス向上委員会（毎月 1 回） | 8. 虐待防止・権利擁護委員会（随時） |

(10) 災害防止対策

防災用設備の自主点検実施のほか、災害時の任務分担、家族の緊急連絡網の職員への周知徹底を図ると共に、毎月の火災を想定した避難訓練とふれあいの里消防総合訓練（通報、避難、消火訓練）を年 2 回実施した。

実施日	想定災害	訓練内容	参加者				
			利用者				職員
			生活介護	就労移行	就労B型	自立支援	
4月13日	火災	火災報知器を鳴らして避難訓練	24	3	11	5	15
5月10日	〃	〃	24	3	10	5	19
6月13日	〃	ふれあいの里消防総合訓練	26	2	11	4	20
7月10日	〃	火災報知器を鳴らして避難訓練	19	2	10	4	19
8月4日	〃	〃	24	2	9	4	17
9月7日	〃	〃	24	3	10	4	18
10月4日	〃	〃	24	1	8	5	15
10月20日	〃	ふれあいの里消防総合訓練	22	3	9	4	20
11月7日	〃	火災報知器を鳴らして避難訓練	19	3	10	4	15
12月4日	〃	〃	20	3	9	5	17
1月18日	震災	〃	21	4	10	5	17
2月6日	火災	〃	23	2	9	5	18
3月9日	震災	〃	19	2	8	4	17

(11) 職員研修・会議

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会・会議に参加した。

①機関研修

研修日	研修名	場所	主催	職種
5月12日	自然災害の備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会	摂津市民文化ホール	摂津市総務部防災管財課	施設長 施設長代理
5月23日	障がい者総合支援制度における指定事業者・施設集団指導	枚方市民会館	枚方市・寝屋川市	施設長 施設長代理
7月20日 21日	平成29年度甲種防火管理者講習会	摂津市消防本部	消防本部予防課	施設長代理
8月1日 2日	第40回てんかん基礎講座	大阪商工会議所	社団法人 てんかん協会	支援員
8月14日	平成29年度「大阪府サービス管理責任者等研修～地域生活（知的・精神）」	ビッグ・アイ	社会福祉法人大阪府社会福祉事業団	施設長代理 支援員
8月22日 23日	平成29年度「大阪府サービス管理責任者等研修～地域生活（介護）」	〃	〃	施設長代理
9月12日	強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）	〃	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
10月3日 4日	平成29年度「大阪府サービス管理責任者等研修」（知的・精神）	大阪府社会福祉会館	社会福祉法人大阪府社会福祉事業団	〃
10月19日	強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）	大阪私学会館	大阪府障がい者自立相談支援センター	〃
11月8日	第二回感染症予防対策講習会	大阪国際交流センター	大阪府社会福祉協議会	〃

11月30日	平成29年度大阪府障害者虐待防止・権利擁護研修	ビッグアイ	大阪府福祉部障がい福祉室	施設長代理
12月6日	平成29年度強度行動障がい支援者養成研修(実践研修)	大阪急性期総合医療センター	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
12月13日	平成29年度強度行動障がい支援者養成研修(実践研修)	大阪府教育会館たかつガーデン	〃	〃
12月18日	発達障害についての講義	摂津市立コミュニティープラザ	摂津市障害者自立支援協議会	〃
1月17日	発達障がい者の事例を用いた事例検討(グループワーク)	〃	摂津市障害者自立支援協議会	〃
1月19日	平成29年度大阪府内の知的障がい者福祉関係機関に対する第1回機関研修	大阪急性期・総合医療センター	大阪府障がい者自立相談支援センター	〃
1月29日	平成29年度苦情解決第三者委員研修会	大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会	施設長代理
2月15日	平成29年度大阪府内の知的障がい者福祉関係機関に対する第2回機関研修	大阪急性期・総合医療センター	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
2月22日	災害・誰ひとり取り残さない	摂津市立コミュニティープラザ	摂津市人権協会	〃
3月22日	障がい者虐待防止について	〃	摂津市障害福祉課	〃
3月28日	平成29年度茨木市地域生活支援事業事業所説明会	茨木市立男女共生センターローズワム	茨木市健康福祉部	栄養士

②専門研修(栄養士研修)

研修日	研修名	場所	主催	職種
5月30日	平成29年度大阪府茨木保健所管内集団給食研究会総会	茨木市民総合センター	大阪府茨木市保健所管内集団給食研究会	栄養士
6月7日	平成29年度第1回感染症・食中毒予防対策講習会	クレオ大阪中央館ホール	大阪府社会福祉協議会	〃
6月16日	食中毒予防講習会	茨木市福祉文化会館	大阪府茨木市保健所管内集団給食研究会	〃
10月18日	特定給食講演会Ⅱ	住吉区民センター大ホール	大阪府健康医療部保健医療室健康づくり課保健予防・歯科・栄養グループ	〃

③施設内研修

研修日	研修名	講師	職種
6月13日	平成29年度衛生研修	(株)イーゾニック	施設長他
11月16日 24日	感染症予防対策講習会伝達研修	支援員	支援員
12月1日	強度行動障がい支援者養成研修伝達研修	支援員	支援員
12月8日 22日	てんかん基礎講座伝達研修	支援員	支援員

(12) その他

①ボランティア受け入れ状況

担当者を設け、利用者の対人関係の拡大、体験学習、福祉の啓発を目的に受け入れをし、施設の社会化の一環とする。受け入れに当たっては、より職員間の意識統一を図るため、ボランティア受入れマニュアルをもとに受け入れ、定期的に会議を設けた。

(人)

実施日	行事名	参加団体	人数
12月21日	ジャンボクリスマス会	人間科学大学子ども福祉学科	16
2月17日	第17回 つくっ展と輝けコンサート	関西電力労働組合 北摂支部	7

②実習生の受け入れ状況

支援学校からの実習は、教育の一環として作業学習や、施設生活を体験することで、進路選択を行うため広く受け入れた。また、福祉事務所からの実習も受け入れ、広く障がい者福祉の啓発や福祉の人材育成に努めた。

(実習生)

(人)

実習期間	学校、施設名	受け入れ先	人数
6月12日～28日 11月6日～22日	大阪人間科学大学 相談援助実習	生活介護	1
8月21日～8月25日	摂津支援学校	就労移行	2
9月6日・7日	大阪人間科学大学福祉課	生活介護・就労継続支援B型	2
9月11日～9月15日	摂津支援学校	生活介護	2
9月25日～9月29日	〃	就労移行	2
12月18日・19日	大阪府立柴島高校	自立訓練	1
1月29日～2月14日 3月5日～3月20日	学校法人大原学園 相談援助実習	生活介護	1

(職場体験実習)

(人)

実習期間	学校・施設名	受け入れ先	人数
6月8日・9日	摂津市立第三中学校	就労移行	2

③アフターケア

障がい者の自立と豊かな地域生活への実現に向けて、本人の希望や家族の状況に応じて進路選択や決定の支援を行った。また、進路先へのスムーズな移行のために調整や引継ぎなど直接的、間接的支援を実施した。

(13)日中一時支援事業

地域生活支援事業の日中一時支援サービスとして、障がい児・者に対し、長期休暇や放課後の預かりや、作業所利用者の平日休曜日や在宅障がい者の日中活動の場の確保やご家族のレスパイトを目的に受入れを行ってきた。

今年度の受け入れ状況は、本体施設利用者の状況や施設面（ハード面）などの問題により、受入れが制限されることがあり、また、利用者の障がい程度に合わせた5クラスの編成配置を行ったため、日中一時支援を受ける居室がないため児童の受入れは難しく、また障がい者の利用希望もなかった。

(14) 移動支援事業（ガイドヘルパー派遣事業）

①概況

一人で外出することが困難な障がいのある方の外出時に、付き添いや介助等のサービスを行うガイドヘルパーを派遣した。今年度も利用者からの要望をもとにグループ支援など、余暇の充実のためのサービス提供を行った。

②事業の状況

*移動支援サービスの提供状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護あり	件数	29	26	12	15	8	14	8	16	16	13	11	11	179
	時間	131.5	108.5	88	110	55.5	100.5	62	118	113	90.5	77.5	76	1131
	平均	4.5	4.2	7.3	7.3	6.9	7.2	7.6	7.4	7.1	7.0	7.0	6.9	6.3
身体介護なし	件数	9	1	2	10	6	2	1	6	7	1	1	4	50
	時間	65	8	13	66	45.5	15	7	46	50.5	7.5	7.5	22.5	353.5
	平均	7.2	8.0	6.5	6.6	7.6	7.5	7	7.6	7.2	7.5	7.5	5.6	7.1
合計	件数	38	27	14	25	14	16	9	22	23	14	12	15	229
	時間	196.5	116.5	101	176	101	115.5	69	164	163.5	98	85	98.5	1484.5
	平均	5.2	4.3	7.2	7.0	7.2	7.2	7.6	7.5	7.1	7.0	7.1	6.6	6.5

*利用者契約者の状況（平成30年3月31日現在）

（人）

		人 数	合 計
障 害 種 別	知的障害	48	53
	身体障害	5	
	精神障害	0	
身体介護あり		29	53
身体介護なし		24	

*主催事業

利用者からの要望をもとに外出先を企画し、支援を行った。

③職員研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加した。

（人）

研 修 日	研 修 名	場 所	参加者
8月1日 2日	てんかん基礎講座	大阪商工会議所	1
11月8日	第二回感染症予防対策講習会	大阪国際交流センター	1
3月28日	平成29年度茨木市地域生活支援事業事業所説明会	茨木市立男女共生センター ローズワム	1

④各種会議

安定した移動支援サービスの提供と職員間の連携を図るため、定期的に会議を開催した。

（人）

実施日	内 容	参加者
5月1日	会議（計画書等書類の書き方・見直しグループ支援について）	12
5月30日	会議（ニーズ調査）	11
7月18日	〃	12
9月1日	〃	12
11月14日	〃	12
3月20日	会議（計画書等書類の書き方・見直しグループ支援について）	11

II 摂津市立身体障害者・老人福祉センター

(1)概況

施設スローガンとして『共に歩もう！笑顔で・元気で・協働で』を掲げ、施設運営において職員と利用者間での結びつきを持つことで、より身近に利用してもらえる雰囲気の良い施設づくりに力を注いだ。施設の立地状況から、市内無料巡回バス セッピィ号や路線バスの到着時間に合わせて事業開始時間を設定したり、ふれあいの里敷地内の駐車スペースが限られている事で、利用者に車での来所をできる限り控えていただいたりするなどして、主催事業等を展開してきた。利用者の「生きがいくくり・健康づくり」を中心とし、主要事業の「福祉センターまつり」は、特に利用者を巻き込み、「利用者」と職員との協働で、行う形とした。そして、新規事業として、つどい場事業をカラオケ教室とコラボレーションして行った。つどい場は、おおむね65歳以上の方々の「居場所」として、お茶を飲んだり、カラオケをしたり、認知症予防の脳トレ体操やゲーム、折り紙製作など、興味を持ち「つどって」いただけるよう様々な事を取り入れた。この事業をきっかけに、センター利用者の中からボランティアを募り、十数名もの方々が登録し活躍していただいた。各種講座・事業の広報活動で、市広報の掲載やチラシ配布等を行うことに加え、時代のニーズに合わせ「施設のホームページの充実」にも取り組んだ。そして、これまでと同様に、同好会や自主グループへの支援や育成に力を注いだ。

(2)利用について

①利用対象

- ・市内在住の身体に障がいのある方
- ・市内在住の60歳以上の方

②利用手続

- ・利用当日センター窓口で「利用証」を提示する。
- ・団体の場合は、使用日1ヵ月前から受け付ける。

③開館時間

- ・8時45分から17時15分まで

④休館日

- ・日曜日
- ・国民の祝日
- ・12月29日～1月5日まで

(3)年間主要行事の実施状況

①年間主催事業

(ア)長期主催事業

(人)

講座名	実施期間	受講者数
健康体操(新規)	4月13日～3月22日(23回) 毎月第2・4木曜日 13:00～14:00	8
カラオケ教室	4月5日～3月17日(24回) ①毎月第1・3水曜日 10:00～12:00	30
	4月5日～3月14日(24回) ②毎月第1・3水曜日 12:45～14:45	23
つどい場 &カラオケ教室	4月5日～3月28日(49回) 毎週水曜日 10:00～12:00/12:45～14:45	69 15(ボランティア)

(イ)受託事業

・いきいきカレッジ

(人)

講座名	実施期間	受講者数
いきいきカレッジ (老人大学)	6月2日～12月1日(20回) 毎週金曜日 10:30～15:00	35

『歩もう！いきいき人生 担おう！地域づくり』を年間テーマとして高齢者の方々が知識と教養を深める場、生きがいづくりや仲間づくりを行う場として開講した。

6月2日にコミュニティプラザにて、せつつ桜苑講座との合同開講式を行った。一部式典に続いて、二部「交通安全について」摂津警察交通課 山田利之氏、「高齢者施策について」高齢介護課 吉田量治氏に講演頂いた。

(1) 一般教養科目

月日	講演名	講師名
1 6月9日	「顔もからだも表情筋も みんなでニコニコ柔らかにし予科」	レクリエーションコーディネーター 郡 真由美氏
2 7月14日	合同・公開講座 (コミュニティプラザ) 「老いても大丈夫」 ～社会が守ります あなたの権利～	大阪弁護士会 三木 秀夫氏
3 9月15日	合同・公開講座 (コミュニティプラザ) 「これからの健康づくり」 ～人生最後の10年をあなたは どう生きますか～	大阪YMCA アジア福祉人材育成センター 重信 直人氏
4 10月13日	「普段から出来る防災対策と 発災時の対応」	日本防災士会大阪支部副支部長 田中 実氏
5 11月10日	「健康に過ごす食事」	摂津市栄養士会 会長 田所 恵子氏 副会長 松村 美香氏

※社会見学 10月27日 滋賀県方面

・五箇荘近江商人屋敷めぐり・びわ湖鮎家の郷・叶匠寿庵「寿長生の郷」

(2) 専門科目

科目	内容
太極拳で元気になろう科	入門太極拳・初級太極拳・練功十八法・手型・歩型など
笑顔で体操しよう科	ひざ痛/腰痛/肩こり/股関節痛の予防改善体操・転倒予防体操・失禁予防・メタボリックシンドロームの予防と改善・ロコモティブシンドロームの予防と改善・介護予防・介護予防理論・雑学など
パソコンを始めてみよう科	電源の入れ方から・マウスの練習・文字入力・ワードでの文章入力/文章作成・インターネット/メール・カレンダーの作成など
パソコンをもっと知ろう科	入力の基礎・(ワード)文章の編集・表の作成や編集・グラフィックスの利用・差し込み印刷・インターネット/電子メールの利用・Googleアカウントの作成・音楽の取り込みやオリジナルCDの作成・インターネットプログラムのダウンロードやインストール・年賀状の作成・(エクセル)データ入力と計算・便利機能と簡単家計簿作りなど

12月1日にふれあいの里にて閉講式を開催し、式典、学習成果発表会及び懇親会を行った。

※いきいきカレッジ（老人大学）申込・受講者数

申込者数 (人)		受講者数 (人)			
専 門 科 目	人数	専 門 科 目	男性	女性	合計
太極拳で元気になろう科	7	太極拳で元気になろう科	1	4	5
笑顔で体操しよう科	12	笑顔で体操しよう科	3	9	12
パソコンを始めてみよう科	11	パソコンを始めてみよう科	4	6	10
パソコンをもっと知ろう科	8	パソコンをもっと知ろう科	2	6	8
合 計	38	合 計	10	25	35

・はつらつ元気でまっせ講座 (人)

講 座 名	実 施 期 間	受講者数
はつらつ元気でまっせ講座 (介護予防講座)	第36集会所 8月24日(28年度事業・半年後チェック)	14
	第15集会所 1月22日～3月5日(6回) 4月9日(予定)(一か月後) 9月10日(予定)(半年後チェック)	14 64(延べ)

(ウ)短期主催事業 (人)

講 座 名	実 施 期 間	受講者数
初級パソコン講座	12月7・8日(13:30～15:30)	16(延べ)

(エ)単発事業 (人)

実施日	事業名	場 所	参加者	内 容
11月18日	福祉センターまつり	福祉センター内	約250	前日準備・当日の仕事・片づけ等分担し、利用者と職員、そして、他施設職員との協働で開催。演芸大会、各同好会の作品展等の催し
2月1日 2日	ふれあいの里 バスツアー	岡山・香川県 方面	71	岡山ワイナリー・石丸製麺見学・栗林公園・屋島寺・たこせんべいの里
3月10日	多世代交流事業 “みんなで楽しく つながろう！”	第1児童 センター	90	第1児童センターのリコーダークラブの演奏・けん玉クラブの演技鑑賞の後、参加者全員でゲーム大会(玉入れ・ふうせんボールおくり・3択クイズ)を行った。地域の自治会・民生児童委員の皆さん・児童センター利用児、そして、陶芸同好会会員・身障協会会員・かがやき利用者が参加

②同好会活動等

(人)

	同好会名	活動日	時間	会員数
1	陶芸同好会	① 毎週火・木曜日	10:00 ~ 15:00	24
		② 毎週水・土曜日	10:00 ~ 15:00	29
2	え~やろ仲良会	① 第2・4月曜日	10:00 ~ 11:30	21
		② 第1・3月曜日	10:00 ~ 11:30	21
3	書道悠墨会	第2・4火曜日	10:00 ~ 12:00	17
4	革工芸同好会	月2回 木曜日	12:00 ~ 15:00	5
5	健康体操	A 第1・3木曜日	14:10 ~ 15:40	22
		B 第2・4木曜日	14:10 ~ 15:40	18
		C 第1・3木曜日	13:00 ~ 14:00	23
6	パソコン同好会	① 第1・3水曜日	10:00 ~ 12:00	5
		② 第2・4木曜日	10:00 ~ 12:00	7
7	いきいきふれあいの会	毎週 火曜日	13:30 ~ 15:30	21
8	太極拳同好会	毎週 金曜日	13:15 ~ 15:00	14
9	パソコン撫子会	月2回 火・木曜日	10:00 ~ 12:00	9
10	パソコンF&M	第2・4 木曜日	10:00 ~ 11:30	8
11	パソコン44会	月2回 火曜日	10:00 ~ 12:00	8

※パソコンF&Mは12月で活動終了

③その他の利用団体

(人)

	団体名	活動日	時間	会員数
1	46期パソコン科OB	月2回 水曜日	10:30 ~ 12:30	8
2	パソコンあじさい	月2回 木曜日	10:00 ~ 12:00	7
3	48期パソコン科OB	月2回 木曜日	9:30 ~ 11:30	8
4	49期パソコン科OB	月2回 金曜日	10:00 ~ 12:00	8

(4)利用者の月別状況

(人)

月	主催事業	つどい場		短期事業 単発事業	同好会	個人・団体	介護予防	いきいき カレッジ	計
		参加者	ボランティア						
4	85	75	25		540	79			804
5	71	77	23		461	79		30	741
6	89	53	24		545	44		168	923
7	92	67	31		517	124		133	964
8	94	72	35		378	26	14		619

月	主催事業	つどい場		短期事業 単発事業	同好会	個人・団体	介護予防	いきいき カレッジ	計
		参加者	ボランティア						
9	137	64	29		477	80		128	915
10	90	51	31		498	62		119	851
11	65	59	39	220	423	66		64	936
12	71	55	31	23	419	93		32	724
1	68	48	31		469	60	18		694
2	62	48	32	71	460	80	36		789
3	78	44	21	90	486	77	10		806
合計	1,002	713	352	404	5,673	870	78	674	9,766

(5)年齢別利用証交付状況 (人)

性別	年齢							合計
	60～64才	65～69才	70～74才	75～79才	80～84才	85～89才		
男	0	7	24	30	15	4	80	
女	8	55	86	67	24	10	250	
合計	8	62	110	97	39	14	330	

(6)地区別利用証交付状況 (人)

性別	地区					合計
	鳥飼北	鳥飼南	味生	味舌	千里丘	
男	29	25	15	5	6	80
女	128	84	20	6	12	250
合計	157	109	35	11	18	330

(7)身体障害者手帳等級別利用状況 (人)

性別	級						合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
男	2	1	3	3	1	0	10
女	2	2	5	5	0	1	15
合計	4	3	8	8	1	1	25

(8)各種会議

1. 施設連絡会議 (月2回)
2. 法人事実行委員会 (随時)
3. ふれあいの里内防災担当者会議 (随時)
4. 職員会議 (随時)

(9)災害防止対策

施設の安全性を確保するため、防災設備の点検・災害時の任務分担及び緊急連絡網の確認等を行った。(人)

実施日	参加者	実 施 内 容
6 月 13 日	36	通報・避難・消火訓練をふれあいの里内施設合同で行った。 (市消防立ち会い)
10 月 20 日	39	※秋は金曜日のいきいきカレッジ開講日に実施
9 月 5 日	18	大阪 8 8 0 万人訓練に参加
3 月 12 日	25	震災訓練を実施 身を守る行動・出口の確保等の確認

(10)職員研修

利用者へのサービス向上や職員のスキルアップのために研修会に参加・企画した。

研修日	研 修 名	出 席 者
7 月 26 日	「法人の財務状況について・本事業の説明について」	所長・所長代理
12 月 14 日	つどい場事業人材育成フォローアップ講座 高齢介護課主催 コミュニティプラザにて	所長代理
2 月 23 日	パソコンスキルアップ研修 「ホームページの更新」講師 宇都宮 正芳 氏	全 職 員

Ⅲ 摂津市障害者職業能力開発センター「せつつくすのき」

(1) 概況

障がい者の就労を可能にするために、知識・技能及び職業人に必要な挨拶やマナー等の習得を図り、職場定着できるように支援を行った。身体障がい者及び内部障がい者対象のOA実務科と知的障がい者対象の実務作業科の2科で、それぞれ定員10名の1年間の職業訓練を実施したがOA実務科では平成29年3月末日に就職退校1名、6月に体調不良のため1名、1月に就職退校が1名あった。

また大阪府委託訓練事業である短期訓練「作業習得コース」を年2回（5月、10月）実施し、5月に2名、10月1名の受講があり2名の就職につなげた。1月に開講予定のコースについては受講希望者がなかった。

職業訓練では早い時期から訓練生の適正と能力の把握に努め、6月の障害者技能競技（アビリンピック）大会では優秀な成績を収め、訓練生の就労に対する意識を高めその後の就職活動につなげた。また、保護者も交えての参観及び懇談、公共職業安定所を招いての就職相談を実施し、本人の希望や能力・適性等を考慮したうえで、企業の絞り込みを行いながら応募した。

訓練生を確保するために訓練内容の質、就職率等当センターの実績について、近隣の公共職業安定所、就業・生活支援センター、支援学校や専修学校等へのPRの強化を図り定員以上の応募者を確保することが出来た。

(2) 職業能力開発訓練指導の状況

OA実務科においては、簿記、ワープロ、表計算、ホームページを中心に訓練を実施した。29年度より電子会計、簿記初級検定を行い、企業から求められるプレゼンテーション、データベース等個々に応じた選択科目を導入するなど、修了後、即戦力として働ける知識、技術を身につけるため各訓練生に合わせた柔軟な訓練カリキュラムを実施した。

実務作業科については、施設内の木工訓練、軽作業以外に、コミュニケーションを円滑に行うためにグループワークやソーシャルスキルトレーニングを取り入れた訓練を実施した。また、清掃技術向上のために、敷地内にある福祉センターの清掃を行い、清掃技術だけではなくコミュニケーション能力向上を図った。

その他、より多くの経験を積むために、摂津市内の企業を中心に職場体験実習を依頼し、就労意欲を高め、各訓練生に応じた職場を開拓し、より実践に即した訓練を行った。

①行事

職業訓練指導・社会生活指導を目的として、次のとおり行事を実施した。

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
4月6日	入 校 式	せつつくすのき	実務作業科 9名 OA実務科 9名	入校生 実務作業科 34期生 10名 OA実務科 45期生 5名

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
5月25日 29日	就職相談	せつつくすのき	OA実務科4名	各管轄職業安定所の担当 官との個別就職相談
5月16日 ～31日	保護者懇談	〃	実務作業科10名	保護者の参観、懇談
6月22日	企業見学会	株式会社 スミセイ ハーモニー	実務作業科10名 OA実務科 8名	就職活動として障害者雇 用事業所を見学する
7月11日		株式会社 ダイ キンサンライズ 摂津	実務作業科 9名 OA実務科 6名	
6月24日 7月 8日	アビリンピック おおさか	ポリテクセンター 関西	実務作業科6名	競技課題を通じて実務面 での応用力を養う 製品パッキング金賞2名 ビルクリーニング銀賞2名 データ入力 銅賞2名
9月28日	修了式	せつつくすのき	実務作業科10名 OA実務科 7名	修了生 OA実務科44期生 4名
10月 3日	入校式	〃	実務作業科9名 OA実務科 9名	入校生 OA実務科46期生 5名
10月26日	就職相談	〃	実務作業科10名 OA実務科 4名 保護者 10名	各管轄職業安定所の担当 官との個別就職相談
10月28日	運 動 会	三宅柳田小学校		雨天中止の為、施設内で 通常訓練を実施
2月 4日	摂津ふれあい マラソン	淀川河川公園 鳥飼下地区	実務作業科10名	実務作業科の体育の一環 として出場
3月28日	修了式	せつつくすのき	実務作業科10名 OA実務科 8名	修了生 実務作業科34期生10名 OA実務科45期生 3名

②採用試験受験、職場実習

職業安定所、新聞広告等からの情報を取り入れて、職場開拓、会社訪問、採用試験受験、職場実習をすすめ、就職活動を行った。

※障がい者合同面接会

実施日	名 称	場 所	参加者
6月21日	高槻市雇用促進フェア	高槻市立生涯学習セ ンター	OA実務科
9月 2日	うめだ障害者就職面接会	ハローワーク梅田& 大阪東	〃

実施日	名 称	場 所	参加者
9月5日	摂津市障害者合同面接会	ポリテクセンター関西	OA実務科
10月4日	大阪労働局主催障害者就職面接会	マイドーム大阪	OA実務科 実務作業科
11月22日	茨木市障がい者就労支援フェア	茨木市役所	OA実務科
12月6日	障がい者合同就職面接会	大阪市淀川区役所	〃
〃	障害者就職面接会	ハローワーク門真	〃
1月20日	うめだ障害者就職面接会	ハローワーク大阪東 &梅田	〃
1月25日	障がい者就職応援フェア in すいた	吹田市勤労者会館	〃
2月9日	池田市障害者就職面接会	池田商工会議所	〃
2月23日	障害者合同就職面接会	ラポールひらかた	〃
2月27日	大阪労働局主催障害者就職面接会	マイドーム大阪	〃

③就職状況

平成29年度の就職先事業所、就職先は次のとおり。

OA実務科 第44期生 4名

事業所名	所在地
(株)NTT西日本ルセント	大阪市
ジョブサポートパワー(株)	在宅
ローム(株)テクノパーク大阪東	大東市

就職退校(平成29年3月末)

(株)小松製作所	枚方市
----------	-----

OA実務科 第45期生 0名

事業所名	所在地

就職退校(平成30年1月末)

(株)LUX JAPAN	大阪市
--------------	-----

実務作業科 第34期生 9名

事業所名	所在地
(株)エルアイ武田	吹田市
(株)PALTAC近畿支社	高槻市
(株)アルトナー	吹田市
(株)スミセイハーモニー	大阪市
(株)ダイキンサンライズ摂津	摂津市

事業所名	所在地
(株)コンテック	大阪市
(株)JR西日本あいウィル	吹田市
(株)あしすと阪急阪神	大阪市
(株)KCC	大阪市

④家庭等との連携

保護者または支援者に対して職業訓練の目的、主旨、生活指導、就職活動等を理解し、協力していただくため、次のように随時懇談を実施して連携を深めた。

実施月日	科目名	懇談内容
4月17日	実務作業科	保護者面談
4月20日	〃	〃
5月16日～31日	〃	訓練参観、訓練状況について
5月31日 6月12、21日	〃	職業センター 重度判定
6月15日	〃	保護者面談
9月28日	〃	〃
10月26日	〃	各職業安定所就職相談会
12月20日	〃	保護者面談

(3) 健康管理

インフルエンザ及び食中毒・感染症予防対策としては、マスクや手洗い消毒液を購入して対応し、訓練生や家族に対して、注意文書の配布や掲示等により、予防啓発に努めた。

その他、大阪府より入校して半年後に健康診断の実施が義務付けられたため、大阪府委託業者である大阪府結核予防会での健康診断を実施した。

実施日	検査内容	対象者	場 所
10月5日	身体計測、血圧、 聴力、視力、 尿検査、胸部レントゲン	実務作業科 34期生 10名 OA実務科 45期生 3名	せつつくすのき
10月18日		OA実務科 45期生 1名	大阪府結核予防会
3月14日		OA実務科 46期生 5名	

(4) 訓練生の状況

①手帳の所持者

(療育手帳)

(人)

判定 性別	A	B1	B2	合計
男	1	3	5	9
女	0	1	1	2
合計	1	4	6	11

内1名は、身体障害者手帳も所持
(OA実務科に所属)

(身体障害者手帳) (人)

性別	級					合計
	1	2	3	4	5	
男	4	3	0	1	0	8
女	0	3	0	1	2	6
合計	4	6	0	2	2	14

②通校状況 (人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
在籍者数	O A 実務科	44 期生	4	4	4	4	4	4	/	/	/	/	/	24	
		45 期生	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	3	3	49
		46 期生	/	/	/	/	/	/	5	5	5	5	5	5	30
	実務作業科	34 期生	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
	合計		19	19	19	18	18	18	19	19	19	19	18	18	223
訓練日数		17	20	22	20	16	19	20	20	16	17	18	18	223	

③地域別 (人)

	O A 実務科			実務作業科	合計
	44 期生	45 期生	46 期生	34 期生	
摂津市	1	0	0	2	3
高槻市	2	0	1	1	4
茨木市	0	1	1	2	4
大阪市	0	0	0	2	2
豊中市	0	0	1	0	1
枚方市	1	0	0	0	1
吹田市	0	1	0	2	3
池田市	0	0	1	0	1
島本町	0	0	0	1	1
寝屋川市	0	2	0	0	2
門真市	0	1	0	0	1
豊能町	0	0	1	0	1
合計	4	5	5	10	24

④年齢別（入校時）

(人)

年 齢		15～ 19才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	合 計
OA実務科	男	1	1	1	4	1	8
	女	0	3	0	2	1	6
実務作業科	男	7	0	1	0	0	8
	女	1	0	0	1	0	2
合 計	男	8	1	2	4	1	16
	女	1	3	0	3	1	8

⑤入校幹旋職業安定所

(人)

		茨木	枚方	淀川	池田	門真	梅田	合計
OA実務科	44期生	3	1	0	0	0	0	4
	45期生	1	2	1	0	1	0	5
	46期生	2	0	0	3	0	0	5
実務作業科	34期生	6	0	3	0	0	1	10
合計		12	3	4	3	1	1	24

⑥通校の方法

(人)

方 法		電車・バ ス	バス	自家用車	自転車	徒歩	合計	
OA実務科	44期生	男	1	1	1	0	0	3
		女	1	0	0	0	0	1
	45期生	男	1	1	1	0	0	3
		女	0	1	1	0	0	2
	46期生	男	2	0	0	0	0	2
		女	3	0	0	0	0	3
実務作業科	34期生	男	2	5	0	1	0	8
		女	0	2	0	0	0	2
合 計	男	6	7	2	1	0	16	
	女	4	3	1	0	0	8	

(5) 障がい者の態様に応じた多様な委託訓練事業（作業習得コース）

軽作業・木工等の作業訓練により、生活態度・集中力・持続性等の向上を図り、多種多様な仕事に対応できる基礎知識、技能の習得を行う。

訓練期間	平成 29 年 5 月 1 日 ～ 6 月 30 日	平成 29 年 10 月 2 日 ～ 11 月 30 日	平成 30 年 1 月 5 日 ～ 3 月 2 日
定 員	年間 7 名		
受講者	2 名	1 名	0 名

就職先

事業所名	所在地
エムオーテックス株式会社	大阪市

受講者の状況

(療育手帳) (人)

判定 性別	A	B1	B2	合計
男	0	1	1	2
女	0	0	0	0
合計	0	1	1	2

※身体障害者手帳 1 名所持

(精神福祉手帳) (人)

級 性別	1	2	3	合計
男	0	0	1	1
女	0	0	0	0
合計	0	0	1	1

(身体障害者手帳) (人)

級 性別	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	1	0	0	1
女	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	1	0	0	1

(地域別) (人)

摂津市	茨木市	吹田市	大阪市	合計
0	1	1	1	3

(6) 各種会議

訓練生の職業能力の開発及び向上のため、ケース会議と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

1. 施設連絡会 (月2回)
2. ケース会議 (随時)
3. カリキュラム会議 (随時)
4. 各行事会議 (随時)
5. 法人行事実行委員会 (随時)

(7) 防災訓練

火災、地震を想定した施設内訓練を次のように実施した。 (人)

実施月日	想定災害	訓練内容	参加者
6月13日	火災	総合消防訓練	訓練生 20 職員 7
9月5日	避難	大阪880万人訓練	訓練生 13 職員 7
10月20日	火災	総合消防訓練	訓練生 15 職員 5
1月17日	地震	震災避難訓練	訓練生 13 職員 6

(8) 職員研修

訓練生の職業能力の開発及び向上を図るため、職員の資質向上を目指し、また、関係機関と連携を図るため各種研修等に参加した。

研修日	研修名	場所	主催	参加者
5月16日	過労死問題をテーマにした落語「エンマの願い」	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市人企連	施設長
5月17日	大阪府障害者訓練担当施設長会議	大阪府咲洲庁舎	大阪府	〃
5月22日	はたらくうえでの基礎知識	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市人企連	〃
7月6日	大阪府委託校事務連絡会議	大阪障害者職業能力開発校	大阪府	〃
8月25日 26日	職業訓練サービス ガイドライン研修	ポリテクセンター 関西	職業能力開発 総合大学校	主幹
9月15日	全国能力開発施設連絡会	せつつくすのき	全国就業支援 ネットワーク	施設長 施設長代理 主幹
12月1日	ガイドライン適合事業所 認定説明会	大阪産業創造館	大阪府	施設長
1月25日	ふれあい学習会	ANA ウィングフェローズ株式会社	摂津市人企連	主幹

2月1日	大阪府障害者訓練担当施設 長会議	大阪府夕陽丘高等 職業技術専門校	大阪府	施設長
------	---------------------	---------------------	-----	-----

(9) その他： 検定試験合格者 (人)

実施月日	検 定 名	科目名	合格者
4月20日	日本商工会議所 PC検定（文書作成）3級	OA実務科	1
5月25日	〃	〃	1
6月11日	日本商工会議所 簿記3級	〃	1
7月19日	日本商工会議所 簿記初級	〃	2
8月8日	日本商工会議所 PC検定（データ活用）2級	〃	1
	日本商工会議所 PC検定（プレゼン資料作成）3級		1
	日本商工会議所 PC検定（データ活用）3級		1
	日本商工会議所 簿記初級		1
8月9日	日本商工会議所 PC検定（文書作成）3級	〃	1
8月25日	日本商工会議所 PC検定（データ活用）3級	〃	1
9月8日	日本商工会議所 PC検定（文書作成）3級	〃	1
9月14日	日本商工会議所 PC検定（プレゼン資料作成）3級	〃	2
9月22日	日本商工会議所 PC検定（データ活用）3級	〃	1
	電子会計実務検定 3級		2
10月27日	日本商工会議所 PC検定（文書作成）3級	〃	1
11月17日	日本商工会議所 PC検定（データ活用）2級	〃	1
11月19日	日本商工会議所 簿記3級	〃	1
11月24日	日本商工会議所 PC検定（プレゼン資料作成）3級	〃	1
12月15日	日本商工会議所 PC検定（文書作成）2級	〃	1
12月22日	日本商工会議所 PC検定（データ活用）2級	〃	2
	日本商工会議所 PC検定（プレゼン資料作成）2級		1
12月25日	日本商工会議所 簿記初級	〃	1

2月2日	日本商工会議所 PC検定（文書作成）2級	〃	1
2月25日	日本商工会議所 簿記3級	〃	1
3月5日	日本商工会議所 簿記初級	〃	3
3月19日	日本商工会議所 PC検定（プレゼン資料作成）2級 電子会計実務検定 2級	〃	1 1
3月26日	日本商工会議所 PC検定（データ活用）3級 日本商工会議所 PC検定（文書作成）3級	〃	1 1

(10) 訓練生の募集活動・施設のPR活動

訓練生の募集活動として公共職業安定所はもとより、摂津市をはじめ近隣市の障がい担当課、支援学校、大学、病院、関係機関等に対するPR活動に努めた。

実施月日	PR事業	主催	内容
6月7日	障がい者職業訓練合同説明会	大阪府 摂津市	大阪北部地域障害者職業訓練校の訓練内容について関係機関、学校向け合同説明会を実施
7月7日		大阪府	大阪南部地域障害者職業訓練校の訓練内容について関係機関、学校向け合同説明会を実施
8月1日			障害別に大阪府下の障害者職業訓練校の訓練内容について関係機関、学校向け合同説明会を実施
12月14日			〃
7月14日	ハローワーク職員向け	〃	募集時期に合わせて各訓練校の内容・特色等の説明会を実施
10月25日	障がい者職業訓練説明会		

【応募者職業評価選考試験】

平成29年10月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。(人)

実施月日	科目名	募集	応募者	合格者	辞退者	対象者
8月24日	OA実務科	5	6	3	1	肢体不自由者 及び内部障がい者
9月20日		3	3	2		
9月30日		1	1	1		

平成30年4月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。(人)

実施月日	科目名	募集	応募者	合格者	対象者
12月7日	実務作業科	10	9	7	知的障がい者

2月15日	OA実務科	5	11	5	肢体不自由者 及び内部障がい者
3月2日	実務作業科	3	10	3	知的障がい者

(11) アフターケア

修了生の職場定着を図り、企業の障がい者の就労に対する理解を深めるため、就職先事業所を連絡訪問し、就労の状況の把握を行い、事業所に対し相談援助を行った。また、修了生や事業所からの相談を受けてケアを行った。

5 摂津市立第1児童センター

(1) 概況

29年度は全国の児童館、児童センターを統括している児童健全育成推進財団による第三者評価を受審した。

- ・市内唯一の児童センターとして機能していること。
- ・児童センター育ちの大人が増え地域の健全育成の環境づくりに成果がみられること。
- ・利用児である子ども達が全ての事を理解し納得する事を大事にしていること。

以上のように総括されて高い評価を受けた。

新たな移動児童館事業として別府のコミュニティセンターにて乳幼児親子向けと学童児向けの二回に分けてクラフト教室を実施し好評であった。

多世代交流事業でも身体障害者・老人福祉センターと協働して初めて児童センターで実施した。自治会、民生児童委員の方々の参加もありこども、障がい者、高齢者が楽しい時間を共有できた。

大型児童館ビッグバンの移動ミュージアムを招聘し子育て支援ネットワーク推進会議の地域連携事業として関係機関とともに実施した。日頃はふれることのない遊具や遊びを経験することが出来た。

従来からのクラブ活動、教室活動、行事においていずれも定員を超えての申込みがあり盛況であった。日常の自由来館では乳幼児親子から学童児まで平均して多くの利用があった。

(2) 利用について

①利用対象

- ・保護者が同伴する乳幼児
- ・小学生
- ・児童関係の指導者及びこれに準ずるもの
- ・その他指定管理者が適当と認める者

②利用手続（入館は無料）

- ・受付で「児童センター使用証」の交付を受け、来館するときには使用証を提示する。
- ・子ども会活動等のため児童センターの部屋の専用許可を受けようとする場合は「特別使用許可書」の交付を受ける。

③開館時間

- ・午前8時45分から午後5時15分まで(5月から8月末は午後6時15分)

④休館日

- ・日曜日
- ・国民の祝日
- ・12月29日から1月3日まで

(3) 年間主要行事の実施状況

(人)

実施日	行 事 名	定員	参加者	内 容
4月22日	児一センまつり 29	—	1,643	模擬店、ゲーム、クラフト等を行う。全市に児童センターのPRを行う。
5月20日	新1年生歓迎会	—	27	新1年生にこどもスタッフが児童センターの約束を教え、来館者全員でドッチボール・学年別大なわとび大会を行う。
6月24日	じゃがいも収穫祭	30	30	児童センターの畑で収穫したじゃがいもをみんなで食べ収穫を祝う。
7月16日 ～17日	児一センツアー '17	20	20	1泊2日で川遊び、野外炊飯、キャンプファイヤー (大森リゾートキャンプ場)
7月22日	夏まつり	—	146	駄菓子屋・おばけやしき等 (人間科学大学協力)
	平和月間事業	—	123	市平和月間事業としてこども達が平和の願いを手作りランタンに書き、ホールに飾り付けた。
8月21日 ～22日	サロン de シャベロン	—	147	こどもスタッフによる喫茶コーナー
9月16日	すこやかネット	—	197	大型児童館ビッグバンによる移動ミュージアムを招聘 一中校区地域教育協議会事業
10月7日	お月見	50	51	天体観測、お月見団子づくりなど伝統行事を経験する。 (地区民生児童委員協力)
10月21日	さつまいも収穫祭	—	45	児童センターの畑で収穫したさつまいもをみんなで食べ収穫を祝う。クイズ大会で楽しむ。
12月9日	クリスマス会 1部 2部	—	247	リコーダー、ミュージックベル、ダンス、バンド演奏、クリスマスティーパーティー
		70	72	
12月16日	もちつき	90	129	もちつき大会 (地区民生児童委員協力)
1月4日	書初めの日	—	28	新年の伝統行事 館内掲示をする
2月24日	みしま三丁目劇場	—	120	リコーダー・マイムショー・けん玉・バンド演奏等 鑑賞行事

実施日	行 事 名	定員	参加者	内 容
3月 9日	乳幼児ランド	—	207	乳幼児対象イベント 消防自動車見学、ゲームコーナー、サーキットコーナーなど
3月 19日	もしかめグランプリ	—	102	けん玉のもしかめ大会
3月 23日	児一セン杯争奪けん玉道選手権大会	—	203	市内小学生のけん玉大会 練習成果の発表の場
3月 24日	卓球大会	—	17	市内小学生の卓球大会 練習成果の発表の場
3月 29日 ～30日	お別れサロン	—	151	こどもスタッフによる喫茶コーナー
3月 31日	お別れドッチボール大会&ぜんざい	—	75	6年生送別ドッチボール大会後、ぜんざいを食べる。 (地区民生児童委員協力)

定例行事活動

登録制の親子プログラムである「P u k u²」「M u k u²」「ひよこちゃんよっといで」やけん玉認定会等を定期的にも実施した。

(人)

行 事 名	実施回数	延参加者数
P u k u M u k u 6ヶ月～2歳児	29回	814
ひよこちゃんよっといで3歳児～	31回	695
トランポリンの日	10回	681
けん玉認定会(移動児童館含む)	15回	570

②教室活動

職員指導による各種クラフト教室、専門講師を招いた各種教室などを開催した。

(人)

実施日	教室名	定員	参加者	実 施 の 内 容
5月 13日	母の日プレゼント作り	20	21	革のしおり作り 講師 1名
6月 17日	父の日プレゼント作り	20	20	革のキーホルダー作り 講師 1名
7月 24日	工作くん① 「ヤックン」	15	15	老人福祉センターで粘土クラフト(交流事業)
8月 5日	工作くん② 「モックン」	20	20	仕分け貯金箱づくり 木工クラフト

実施日	教室名	定員	参加者	実施の内容
11月18日	クリスマスクラフト	20	20	クリスマスのスノードーム作り
12月25日	しめ縄作り	—	23	しめ縄リースづくり 講師1名
2月3日	節分	—	47	まめまき・節分ゲーム大会
2月4日	チョコレート作り	24	28	バレンタインのチョコレート作り

③クラブ活動

指導者が児童を集団で指導するクラブを編成し、継続指導を行った。また、幼児親子対象のおもしろくらぶでは大阪人間科学大学こども保育学科と連携して実施した。

(人)

クラブ名	期間・活動日・活動日数	部員数	延参加者数
けん玉クラブ(前期)	4月6日～9月28日 木曜日 21回	18	331
〃 (後期)	10月5日～3月23日 木曜日 21回	19	355
卓球クラブ (前期)	4月7日～9月29日 金曜日 23回	15	316
〃 (後期)	10月6日～3月24日 金曜日 20回	15	206
リコーダークラブ(前期)	4月1日～9月30日 土曜日 22回	26	505
〃 (後期)	10月7日～3月31日 土曜日 23回	25	516
クリスマスキッズ	10月4日～12月9日 計17回	13	230
おもしろくらぶⅠ期	5月18日～7月6日 木曜日 8回	40	306
〃 Ⅱ期	10月5日～11月30日 木曜日 8回	40	355
こどもスタッフ(前期)	3月4日～9月30日 計28回	19	271
〃 (後期)	10月7日～3月31日 計21回	15	185

④各種大会参加

クラブ活動の成果としての発表会や対外試合等に参加した。

(人)

実施日	事業内容	参加者	クラブ	開催場所
5月14日	摂津市こどもフェスティバル2017	17	けん玉クラブ	大正川河川敷
6月25日	文部科学大臣杯けん玉道選手権大会(南関西予選会)	12	けん玉クラブ 有段者	大阪市立 住吉小学校
9月9日	西日本リコーダーコンクール	26	リコーダー クラブ	あましんアルカイック ホール・オクト

実施日	事業内容	参加者	クラブ	開催場所
10月7日	卓球クラブ交流試合①	30	卓球クラブ	第1児童センター
3月10日	多世代交流事業	105	リコーダー・けん玉クラブ	第1児童センター
3月17日	リコーダー体験教室	30	リコーダークラブ	第1児童センター
3月17日	卓球クラブ交流試合②	45	卓球クラブ	西京極児童館

(4) 使用状況

月	個人使用	特別使用	計	(日)	(人)
				開館日数	1日平均
4	3,496 (2,132)	8	3,504	24	146
5	1,785 (592)	6	1,791	24	75
6	2,626 (783)	8	2,634	26	103
7	2,324 (784)	6	2,330	25	93
8	2,492 (640)	0	2,492	26	96
9	2,273 (1,027)	8	2,281	24	95
10	2,276 (1,136)	40	2,316	25	93
11	2,167 (879)	7	2,174	24	91
12	1,843 (944)	7	1,850	23	80
1	1,677 (646)	5	1,682	23	73
2	1,809 (705)	5	1,814	23	79
3	2,555 (1,122)	3	2,558	26	98
計	27,323 (11,390)	103	27,426	293	94

※ () は主催事業参加者 特別使用…子育てグループ活動等のため部屋の専用許可を受けようとする場合

(5) 年齢別使用証交付状況

(人)

月	乳児	幼児	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	累計
4	42	70	33	37	64	87	81	59	473	473
5	10	38	8	32	30	16	32	19	185	658
6	28	41	17	17	16	31	22	7	179	837
7	24	28	18	6	7	13	6	9	71	948
8	20	32	13	14	13	11	10	14	127	1,075
9	28	35	7	6	3	2	9	4	94	1,169
10	24	34	8	3	2	5	4	0	80	1,249
11	25	27	6	10	7	5	2	4	86	1,335
12	9	7	3	6	3	3	2	0	33	1,368
1	8	11	3	5	1	5	3	2	38	1,406
2	5	7	2	4	0	4	6	1	29	1,435
3	16	17	11	3	4	4	0	4	59	1,494
合計	239	347	129	143	150	186	177	123	1,494	

(6) 学校別使用証交付状況

(人)

月	撰津	味舌	三宅柳田	その他	合計	累計
4	204	70	65	22	361	361
5	89	24	20	12	137	498
6	64	22	19	5	110	608
7	34	14	10	1	59	667
8	25	19	22	9	75	742
9	15	3	11	2	31	773
10	12	2	2	6	22	795
11	14	3	14	3	34	829
12	5	0	5	7	17	846
1	16	2	1	0	19	865
2	11	5	1	0	17	882
3	5	6	5	10	329	908
合計	486	170	175	77	908	

(7) ボランティア受け入れ状況

児童センターを利用したOB・OGの中・高校生, 大学生, 社会人のボランティア, 親子プログラムのOGである母親ボランティア, 地域のボランティアとして民生児童委員等、様々なボランティアを受け入れた。

(日:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	12	9	18	15	13	7	15	13	12	7	10	13	144
行事・日常ボランティア延活動者数	47	23	27	62	21	29	80	73	63	10	28	43	506

(8) 避難訓練実施状況

全来館者を対象にして火災、地震想定での避難誘導消火訓練を実施した。

年間延参加者数は45名であった。(その他の避難誘導訓練は以下の通り)

(人)

実施日	参加者	実施内容
3月10日	207	乳幼児ランドで幼児親子を対象に火災を想定して避難誘導訓練及び通報訓練を実施。市消防隊員の講話と消防車の見学を実施。

(9) 個人情報の取り扱い及び虐待防止についての取り組み状況

使用証の交付申請書、使用登録カードをはじめ個人情報が記された書類などの管理は、施錠したキャビネットにて保管した。施設外への個人情報データの持ち出しも一切行わなかった。

虐待やいじめを受けているなどの疑われる児童については、来館時に受付にて様子を見て声かけを行った。様子がおかしい場合、状況観察に努め各職員からアプローチし、状況により学校、家庭と連絡連携し、問題の解決に努めた。

(10) 職員研修

日常業務に必要な技術の習得や質の高いサービス向上を目指し、職員の資質を高めるために研修会に参加した。

研修日	研修名	開催場所	主催	職種	備考
6月18日	トリプルP 子育てに前向きに取り組む方法	摂津市	子育て支援ネットワーク推進会議	児童厚生員	
7月26日	会計勉強会	摂津市	法人内研修	施設長	

研修日	研修名	開催場所	主催	職 種	備考
9月13日	遊びのマルシェ	東 京	財団法人 児童健全育成 推進財団	児童厚生員	
10月24日 ～27日	児童厚生員等 基礎研修会	大阪市	財団法人 児童健全育成 推進財団	児童厚生員	児童厚生員 2級資格
10月20日	大阪府 児童厚生員等 研修会	大阪市 堺市	大阪府立 大型児童館 ビッグバン	〃	[児童館論]Ⅱ
10月31日					[集団援助活動]
11月8日					[表現活動]
					[ゲーム・運動遊 び]
11月15日	労働時間管理につ いて	摂津市	法人内研修	施設長	
3月22日	虐待防止研修	摂津市	法人内研修	全職員	

(11) 運営委員会について

(人)

	実 施 日	参加者	内 容
第1回	6月30日	9	事業報告、決算概要報告 近況報告、質疑応答
第2回	3月15日	9	事業計画、予算概要説明 近況報告、質疑応答

6 摂津市障害者総合支援センター

I 摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」

(1) 概況

平成29年度は、「地域生活支援拠点等の整備」事業の一環として旧摂津市商工会館を改修し10月1日に移転した。それに伴い、9月30日付で日中一時支援事業を廃止した。

相談支援部門における事業は、〔1〕摂津市指定「計画相談支援」、「障害児相談支援」、〔2〕摂津市委託「摂津市障害者相談支援事業」、「摂津市障害児相談支援事業」、〔3〕大阪府指定「地域相談支援」、〔4〕摂津市委託「摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業」、〔5〕大阪府事業で大阪府より相談支援アドバイザーとして委嘱を受けた「大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業」〔6〕摂津市委託「障害支援区分認定調査員」〔7〕陽だまりと会議室の運営を継続して実施した。

障がい福祉サービス等を利用する際には計画相談支援や障がい児相談支援の導入が必須になり、対象者の全員の支援導入が達成した。

(2) 事業の状況

①計画相談支援（サービス利用支援、継続サービス利用支援）、障害児相談支援（障害児支援利用援助、継続障害児支援利用援助）

サービス等利用計画作成を398名、障害児支援利用計画作成を105名について実施した。本人が地域でいきいきと自分らしく生活が送れるように本人中心支援計画をケアマネジメント手法を活用して作成し、きめ細やかな支援を行った。また、計画相談支援を導入することにより関係機関の連携強化、明確な役割分担、系統だった支援による本人のエンパワメントの引き出しを行った。

②障害者相談支援事業、障害児相談支援事業

対象者は、摂津市内在住の障がい（身体・知的・精神）者及び障がいのある児童である。

障害者相談支援事業は、知的障がい者を対象としていたが、身体障がい者や精神障がい者（主に発達障がい）の継続相談も受けてきている。相談経路は、行政機関や専門機関、各教育機関・学校から情報提供を受けたり、障害福祉ハンドブック、ホームページなどを見て連絡される方も増えてきている。

（障害者相談支援事業）相談の内訳と件数

（人）

相談内容	福祉サービスの利用	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計
件数	566	24	290	299	4	134	138	114	89	12	51	194	1,915

(障害児相談支援事業) 相談の内訳と件数

(人)

相談内容	福祉サービスの利用	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計
件数	194	10	56	8	71	38	0	0	1	1	4	234	617

(主催事業)

余暇支援の一環として、法人運動会や風船バレーボール大会への参加呼びかけを行い、摂津市から委託を受け、エアロビクスダンス教室を主催した。(市民グループもスタッフとして参加)

(人)

	日付	行事名	参加人数	内容	場所
1	10月28日	摂津宥和会運動会	—	雨天中止	市立三宅柳田小学校
2	12月10日	摂津市風船バレーボール大会	7	ウィングでのチーム参加	
3	2月24日	エアロビクスダンス教室	18	エアロビクスダンス	

③地域相談支援

障がい者支援施設等の施設に入所している障がい者や精神科病院等に入院している精神障害者、矯正施設を退所される障がい者に対して、住居の確保、地域生活に移行するための活動に関する相談、その他の便宜を供与する地域移行支援は、対象者(支給決定者)はなかった。

居宅において単身等の状況において生活する障がい者に対して、当該障がい者との常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態において相談、その他の便宜を供与する地域定着支援は対応できる体制を確保してきたが対象者(支給決定者)はなかった。

④摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業

市町村における相談支援事業が、適正かつ円滑に実施されるよう、相談支援の強化を図る

ことを目的としている。三障がいを対象とした相談支援拠点（基幹相談支援センター）の設置によって専門的な相談支援等を要する困難事例への対応や総合相談、地域自立支援協議会を構成する相談支援事業者等に対して専門的な指導、助言などを行った。また、障がい者支援施設での長期入所者や精神科病院での長期入院者の地域移行の推進や自立支援協議会の運営などと摂津市障害者介護給付費等支給審査会審査委員の委嘱を受け審査会に出席した。

1) 市自立支援協議会実務担当者会議 (事務局会議・相談支援部会、障害児相談連絡会)	年 15回
2) 摂津市障害者地域自立支援協議会代表者会議	年 3回
3) 各支援学校主催会議や進路支援等	年 6回
4) 相談支援事業者・障害福祉サービス事業者等への専門的助言指導や調整	年 24回
5) 介護給付費等支給審査会	年 5回
6) 地域移行・各種ネットワーク会議等	年 10回
7) 支援困難事例や初期相談等の個別支援	年 37回
8) 成年後見利用支援	年 2回
9) 虐待防止関係	年 3回
10) その他（研修講師、研修受講、市民団体への助言など）	年 11回
	合計 116回

⑤大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業

大阪府の地域生活支援事業として位置づけられており、市町村および指定相談支援事業所に障がい者の相談支援に関し、専門性の高いアドバイザーを派遣し、地域のネットワーク構築に向けた指導・調整等、広域的支援を行うことにより、地域における相談支援体制の整備推進に努めた。

1) アドバイザー報告連絡調整会議	年 5回
2) 市町村地域自立支援協議会連絡会議	年 1回
3) 大阪府障がい者自立支援協議会委員参加等	年 4回
4) 市町村へのアドバイザー派遣	年 3回
	合計 13回

⑥障害支援区分認定調査員

障害福祉サービス（介護給付費）の支給にあたり、市から障害支援区分認定調査員の委託を受け、148件の認定調査を実施した。

⑦陽だまりと会議室(貸室)の運営

障がい福祉の啓発を目的に当センターロビーに市内日中活動系事業所の利用者が作った作品の展示(一部は販売)と、市民が自由に持ち帰ることが出来るよう障がい福祉事業所、機関、当事者団体のパンフレットや機関紙等を設置し、障がい当事者や家族、関係者にとどまらず、一般市民にも作品を鑑賞、購入していただいた。

また、市内障がい福祉事業所や当事者団体の活動を支援する等の目的で、会議室の貸室事業を継続し、必要に応じて相談支援機能強化事業として、当事者団体等の定例会に参加し、助言や情報提供を行った。

現在、貸室登録団体は12団体で平成29年度利用実績回数は54回。

(3) 研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加した。

	日付	内容	場所	主催	参加者
1	4月4日	着任時研修	摂津市障害者総合支援センター	内部研修	相談員1名
2	4月19日	新入職員のためのサービスマナーセミナー	大阪府社会福祉指導セミナー	大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター	相談員1名
3	7月4日	発達障がい家族支援～大阪府のペアレント・メンタリー活動～	クレオ大阪中央	大阪府ペアレント・メンター	相談員1名
4	7月5日、14日、9月14日、15日、22日	平成29年度大阪府相談支援従事者初任者研修	ビッグ・アイ	大阪府障害者福祉事業団	相談員1名
5	7月26日	財務研修	みきの路	法人内研修	相談支援専門員3名
6	8月2日	大阪府摂津支援学校公開研修会	大阪府立摂津支援学校	大阪府立摂津支援学校	相談支援専門員1名
7	11月15日	労働時間管理について	みきの路	法人内研修	管理者1名
8	11月25日	小児在宅医療支援ネットワーク研修会	大阪府茨木保健所	大阪府茨木保健所	相談支援専門員1名
9	12月11日、1月16日、17日	平成29年度大阪府相談支援従事者現任研修	たかつガーデン	社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会	相談支援専門員1名
10	12月14日	しょうがい福祉フェスタ	茨木市市民総合センター	茨木市障害者地域自立支援協議会研修会	相談支援専門員1名
11	12月18日	発達障がい研修	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市障害者地域自立支援協議会	管理者1名、相談支援専門員3名
12	1月17日	発達障がい研修	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市障害者地域自立支援協議会	管理者1名、相談支援専門員2名
13	3月22日	摂津市障がい者虐待防止講習会	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市障害福祉課	相談支援専門員2名
14	3月23日	発達プロセスについて	摂津市障害者総合支援センター	摂津市障害者地域自立支援協議会	管理者1名、相談支援専門員2名

(4) 日中一時支援事業(愛称 ぱたぱた)

①概況

安威川以北の日中一時支援事業の拠点施設として事業を実施した。障がい児・者等の日中における活動の場を確保し、家族の就労支援及び障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的とし、定員は、3名で管理者1名(相談支援事業と兼務)と専任の生活支援員1名体制で支援を行った。なお、移転に伴い9月30日付で本事業を廃止した。

②事業の状況

1) 日中生活の支援

身体等の介護及び日常生活上の支援として、排泄における誘導や介助、食事(持参弁当)の介助等を行った。また、安全に過ごせるように見守り支援を行いながら、創作活動及びレクリエーションとしての音楽やテレビ視聴、制作等の創作活動を行い、精神的な安定を図りながら余暇活動を行った。

2) 健康管理面

健康管理として、家庭での健康状態を聞き、サービス提供中の利用者の健康状態に対して常に留意し、疾病の早期発見、予防に努めた。また、慢性疾患等において継続的に服薬が必要な利用者に対しては、服薬支援も行った。

3) 日中一時支援事業申請の援助

日中一時支援事業を利用するにあたっての申請を行う際に必要な支援を行った。

4) 相談及び援助

利用者及び家族からの相談については、相談支援事業において受け付け、ニーズの充足に結びつけた。

利用契約者の内訳と人数(平成29年3月31日現在) (人)

年齢層	0～5才	6～10才	11～15才	16～20才	21才～	計
人数	0	0	3	3	1	7

利用実績(延人数) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	17	15	9	15	21	10	/	/	/	/	/	/	87

Ⅱ 茨木・摂津障害者就業・生活支援センター

(1) 概況

茨木・摂津障害者就業・生活支援センターは、職業生活における自立を図るために、就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障がい者に対し、雇用・保健・福祉・教育等の関係機関との連携（連絡・調整）を図りつつ、身近な地域において必要な指導・助言その他の支援を行うことにより、その雇用の促進及び職業の安定を図った。

当センターの年間就職者数は57名で、障がい種別にみると、身体障がい者が2名、知的障がい者が44名、精神障がい者が11名、その他が0名で摂津市・茨木市別に就職状況をみると、摂津市が25名で茨木市が33名であった。また、職場定着支援については、例年同様、当センターの登録者が増加し、それに伴い定着支援の回数が増えたことが特徴的な年となった。定着支援を重ねることで当センターの支援力のさらなる向上や雇用する事業者への障がいについての理解促進等が課題として表面化した。課題克服のためサービスの質の向上を目指し、個別支援計画の試行実施や週1回のケース会議実施、毎月第1土曜日の相談日の開設を行った。

支援の効率性を高めるために実施してきた新規利用者を対象とした集団でのサービス内容説明会であるガイダンスを継続し、就業・生活支援センターの事業説明と支援内容を理解していただいた上でサービス利用を希望される方には個別面談を実施しているが概ね好評である。

就労支援のネットワーク構築については、摂津・茨木両市の障害者地域自立支援協議会委員や摂津支援学校協議会委員の就任をはじめ、行政及び関係機関、企業等とのネットワークを深めていく中で、地域における障がい者の就労支援を担う機関としてその果たすべき役割が大きくなってきている。

さらに、支援学校生徒の卒業後の支援が切れ目のないようにしていくために4か所の特別支援学校と2か所の障害者就業・生活支援センターの支援担当者会議を年に3回実施した。

(2) 就業・生活支援センター活動の状況（利用者参加）

実施日	行事名	場 所	内 容
8月23日	摂津市障害者就職フェア	ポリテクセンター 関西	障がい者合同就職面接会
9月6日	摂津支援学校高等部及びとりかい高等支援学校3年生とに対する出張ガイダンス	大阪府立摂津支援学校・とりかい高等支援学校	就業・生活支援センター事業内容説明会
11月8日	おしごと見学会	(株)立命館ぷらす	会社見学会
11月22日	茨木市障害者就労支援フェア	茨木市役所南館	障がい者合同就職面接会
2月16日	ジョブリンピック	摂津支援学校	「あいさつ競技」「清掃競技」などで日頃の授業の成果を競う
2月19日	茨木支援学校3年生に対する出張ガイダンス	茨木支援学校	就業・生活支援センター事業内容説明会

(3) 利用者の状況

①地域別相談者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合計
摂津市	184	84	114	9	391
茨木市	363	115	249	25	752
合計	547	199	363	34	1,143

②新規相談者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合計
摂津市	21	6	2	0	29
茨木市	35	2	21	0	58
合計	56	8	23	0	87

③延べ相談件数

(件)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合計
摂津市	797	105	255	15	1,172
茨木市	553	134	580	41	1,308
合計	1,350	239	835	56	2480

④市別利用登録者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合計
摂津市	138	39	32	6	215
茨木市	282	63	83	10	438
合計	420	102	115	16	653

(4) 就職の状況

①職場実習

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合計
摂津市	10	0	0	0	10
茨木市	16	1	1	0	18
合計	26	1	1	0	28

②就職者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	17	2	5	0	24
茨木市	27	0	6	0	33
合計	44	2	11	0	57

(5) 職員研修

利用者の職業生活における自立を図ることを目的に、必要な情報・知識を習得し、職員の資質を高めるため研修会、連絡会等へ参加した。

実施日	研修名	主催	場 所	内 容
6月1日	就労継続支援A型について	内部研修	摂津市障害者総合支援センター	就労継続支援A型の法的位置づけと運営基準等について
7月26日	財務研修	摂津宥和会事務局	みきの路	法人内研修。経理についての基礎知識等について
8月21日	発達障がいについて	内部研修	摂津市障害者総合支援センター	発達障がいの特性や支援等について
9月12日	摂津・精神障害者の地域生活支援を考える『学習会』第2回目	あけぼの福祉会/摂津市障害福祉課	摂津市障害者総合支援センター	就労継続支援B型事業所の活動内容について
11月20日	関係機関職員研修会	大阪府茨木保健所	茨木市市民総合センター(クリエイティブセンター)	「神経筋難病～支援者へ求める疾患への理解」
12月11日	大阪府域障害者就業・生活支援センター初任者研修	大阪府福祉部障がい福祉室自立支援課就労・ITグループ	大阪合同庁舎4号館	『就業・生活支援センターの在り方・役割を再確認する』
12月18日	発達障がい研修	摂津市障害者地域自立支援協議会	摂津市立コミュニティプラザ	発達障がいについて
1月17日				

実施日	研修名	主催	場所	内容
2月16日	大阪府域障害者就業・生活支援センター初任者研修	大阪府福祉部障がい福祉室自立支援課就労・ITグループ	大阪府庁咲洲庁舎	「就業・生活支援センターにおける生活支援とは？」
3月22日	摂津市障がい者虐待防止講習会	摂津市障害福祉課	摂津市立コミュニティプラザ	虐待防止について
3月23日	発達障害研修	摂津市障害者地域自立支援協議会	摂津市障害者総合支援センター	発達プロセスについて

(6) 関係機関との会議

会議名	会議内容	回数
平成29年度障害者就業・生活支援センター近畿ブロック経験交流会議	厚生労働省からのセンター事業に関する説明、基調講演、グループ別意見交換	年 1回
大阪障害者就業・生活支援センター連絡会 北摂ブロックほくほく会	各センターの取組み状況について、相談支援専門員による講演、職場体験実習・利用登録について、その他	年 4回
大阪障害者就業・生活支援センター連絡会	ハローワークとの連携について、行政からの情報提供、関係機関における障害者関係施策について、支援対象の範囲について、利用者登録制度について、グループ討議、その他	年 4回
摂津市障害者地域自立支援協議会代表者会議	実務担当者（相談支援部会）からの報告、次期障害福祉計画の策定について（第5期摂津市障害福祉計画、第1期摂津市障害児福祉計画）、その他	年 3回
摂津市障害者地域自立支援協議会相談支援部会	各センター近況報告、部会報告、その他	年 6回
摂津就労支援ネットワーク会議	各機関の近況、今後のネットワーク会議について、障がい者の就職に対する課題、就労継続支援A型事業所の現状について、意見交換、その他	年 3回
摂津市障害者虐待防止ネットワーク会議	平成28年度における障害者虐待の状況、その他	年 1回

会議名	会議内容	回数
大阪府立摂津支援学校協議会	学校経営計画、本年度採択の教科書について、授業見学、授業アンケートの報告、教員研修の取組みについて、学校教育自己診断の実施について、その他	年 3回
三島ブロック進路指導関係機関連絡会	卒業生徒の進路先報告と新3年生の進路希望状況の報告、関係機関との情報交換、その他	年 3回
茨木市障害者地域自立支援協議会定例会	事務局会議報告、障害者計画等について、全体会について、しょうがい福祉フェスタの報告・振り返りについて、医療的ケアが必要な児童の支援に関する協議の場について、イベント情報等の集約・発信について、その他	年 4回
茨木市障害者地域自立支援協議会就労支援部会	企業見学ツアーについて、「茨木市総合福祉計画、分野別計画」についての意見交換、雇用管理セミナー、おしごと見学会の振り返り、次年度の活動内容について、来年度の活動内容について、その他	年 6回
茨木市障害者地域自立支援協議会全体会議	茨木市における障害者相談支援体制及び相談支援実施状況について、平成29年度の自立支援協議会方針について、部会・プロジェクトチームの再編について、医療的ケアが必要な児童の支援体制の現状と今後について、その他	年 2回
特別支援学校と障害者就業・生活支援センターの支援担当者会議	各支援学校の進路進捗状況、各センターの近況、児童養護施設利用生徒の状況確認、企業情報の交換	年 3回
就労支援関係事業所連絡会議（法人内）	各事業所の近況、就労継続支援A型事業所について、その他	年 3回

（7）就業・生活支援センターのPR活動

摂津市、茨木市の障がい福祉担当課、商工担当課をはじめ、両市の広報への掲載や茨木公共職業安定所等主催の障がい者合同面接会において企業、求職者に対してPR活動に努めた。